

クラス		受験番号	
出席番号		氏 名	

2014年度 第1回 全統マーク模試  
学 習 の 手 引 き 【解答・解説集】



【2014年 5 月実施】

• 英 語

筆 記 .....	1
リスニング .....	32

本冊子巻末に「自己採点シート」と「学力アップ・志望校合格のための復習法」を掲載していますので、志望校合格へむけた効果的な復習のためにご活用ください。

河合塾





# 【英語】

筆記

## 【解答・採点基準】

(200点満点)

問題番号	設問	解答番号	正解	配点	自己採点
第1問	A	問1	①	2	
		問2	③	2	
		問3	②	2	
	B	問1	②	2	
		問2	③	2	
		問3	①	2	
		問4	①	2	
	第1問 自己採点小計			(14)	
第2問	A	問1	①	2	
		問2	②	2	
		問3	②	2	
		問4	②	2	
		問5	①	2	
		問6	④	2	
		問7	①	2	
		問8	①	2	
		問9	①	2	
		問10	③	2	
	B	問1	②	4	
		問2	②	4	
		問3	②	4	
	C	問1	③	4	
			⑥		
		問2	④	4	
			②		
		問3	⑥	4	
			③		
	第2問 自己採点小計			(44)	

問題 番号	設 問		解 番	答 号	正解	配点	自己採点
第3問	A	問 1	27		③	4	
		問 2	28		④	4	
	B		29		②	5	
			30		②	5	
			31		③	5	
	C		32		②	6	
			33		③	6	
			34		④	6	
第3問 自己採点小計					(41)		
第4問	A	問 1	35		③	5	
		問 2	36		③	5	
		問 3	37		①	5	
		問 4	38		②	5	
	B	問 1	39		①	5	
		問 2	40		②	5	
		問 3	41		③	5	
第4問 自己採点小計					(35)		
第5問	問 1	42		②	6		
	問 2	43		②	6		
	問 3	44		③	6		
	問 4	45		③	6		
	問 5	46		④	6		
第5問 自己採点小計					(30)		
第6問	A	問 1	47		②	6	
		問 2	48		④	6	
		問 3	49		②	6	
		問 4	50		③	6	
		問 5	51		②	6	
	B		52		③	6	
			53		①		
			54		②		
			55		④		
第6問 自己採点小計					(36)		
自己採点合計					(200)		

英語

## 【解説】

### 第1問 発音・アクセント問題

#### A 発音問題

問1 **1**

- ① human /hjú:mən / 「人間」 / jú: /
- ② hundred /há:ndrəd / 「100」 / á /
- ③ hunger /háŋgər / 「空腹」 / á /
- ④ husband /há:zbənd / 「夫」 / á /

したがって、①が正解。

問2 **2**

- ① daughter /dó:tər / 「娘」 / φ /
- ② height /há:rt / 「高さ」 / φ /
- ③ laughter /lá:ftər|lá:ftər / 「笑い」 / f /
- ④ neighbor /né:bər / 「近所の人」 / φ /

したがって、③が正解。

問3 **3**

- ① desire /dí:zá:r / 「願望」 / z /
- ② despair /dí:spé:r / 「絶望」 / s /
- ③ resemble /rí:zé:mbəl / 「似ている」 / z /
- ④ reservation /rè:zərvéi:fən / 「予約」 / z /

したがって、②が正解。

#### B アクセント問題

問1 **4**

- ① attempt /ə'témpt / 「試みる」 第2音節
- ② **distance** /dí:stəns / 「距離」 第1音節
- ③ intend /ínténd / 「意図する」 第2音節
- ④ prepare /prí:peər / 「用意する」 第2音節

したがって、②が正解。

問2 **5**

- ① alcohol /ə'lkáhɒ(:)l / 「アルコール」 第1音節
- ② energy /énə:dʒi / 「エネルギー」 第1音節
- ③ **imagine** /ímæ:dʒɪn / 「想像する」 第2音節
- ④ medicine /médəsn / 「医学／薬」 第1音節

したがって、③が正解。

問3 **6**

- ① **ancestor** /é:nsesə / 「祖先」 第1音節
- ② consumption /kənsámptʃən / 「消費」 第2音節
- ③ develop /dí:vələp / 「発展する」 第2音節
- ④ permission /pərmí:fən / 「許可」 第2音節

したがって、①が正解。

問4 **7**

- ① **experiment** /íkspérəmənt / 「実験」 第2音節
- ② horizontal /há(:)rəzá:ntl / 「地平線の」 第3音節
- ③ limitation /lí:mətéi:fən / 「制限」 第3音節
- ④ systematic /sístəmətík / 「体系的な」 第3音節

したがって、①が正解。

## 第2問 文法・語法空所補充問題・対話文空所補充問題・語句整序問題

### A 文法・語法空所補充問題

問1 If I **8** the same problem as you had, I might not have succeeded in life.

- ① **had had**                      ② have
- ③ should have                ④ would have

私があなたと同じ問題を抱えていたら、人生で成功しなかったかもしれません。

#### 【ポイント】

##### 仮定法過去完了

If S' had+過去分詞 ..., S would [could / might] have+過去分詞 ~. の形は、「もし S' が…したなら、Sは~しただろうに[~できたらだろうに/~したかもしれない]」という意味で、過去の事実に対する仮定や願望を表す。

【例】 If I **had had** enough money, I **could have bought** a car.

もし十分なお金があったら、車を買えただろうに。

・ the same A as ... 「…と同じ A」

#### 【関連】

##### 仮定法過去

If S' + 動詞の過去形 ..., S would [could / might] + 動詞の原形 ~. の形は、「もし S' が…するなら、Sは~するだろうに[~できるだろうに/~するかもしれない]」という意味で、現在の事実に対する仮定や願望を表す。

【例1】 If I **were** rich, I **could buy** that car.

私がお金持ちなら、その車を買えるのに。

【例2】 If he **tried** harder, he **would succeed**.

彼がもっと一生懸命にやってみたら、成功するだろう。

問2 The insects are very small, so they are **9** to see without using a magnifying glass.

- ① able                              ② **difficult**
- ③ incapable                      ④ possible

その昆虫はとても小さいので、拡大鏡を使わずに見るのは難しい。

## 【ポイント】

### A is difficult to-不定詞

A is difficult の後ろに to-不定詞が続くと、「A は～するのが難しい」という意味を表す。この構文では、文の主語である A が意味上、不定詞句内の目的語という関係になり、不定詞句内では目的語が表現されない。本問では主語の they (=the insects) は不定詞句内の動詞 see の目的語となっている。なお、この構文は、形式主語を用いた It is difficult to do A で書き換えることができる。

[例] This cake **is very difficult to make**.

このケーキは作るのがとても難しい。

この例では、make の意味上の目的語 this cake が文の主語になっている。

・magnifying glass 「拡大鏡／虫眼鏡」

### 【他の選択肢について】

① able は、be able to-不定詞で「～することができる」という意味を表す。①を選ぶと「その昆虫は拡大鏡なしでもものを見ることができる」という意味を表すことになるので、不可。

[例] You must **be able to** speak French for this job.

この仕事をやるためにはフランス語が話せなければならない。

③ incapable は、be incapable of ～ing で「～する能力がない」という意味を表すので不可。

[例] He **is incapable of** teaching French.

彼はフランス語を教えることができない。

④ possible は、It is possible for A to-不定詞で「A は～することができる」の意味を表すので、不可。

[例] **It is possible for me to** read the book in a day.

私はその本を1日で読むことができる。

### 【関連】

形容詞 difficult と同じように用いられる形容詞には、easy / hard / impossible / safe / dangerous などがある。

[例] This river **is dangerous to** swim in.

この川は泳ぐのが危険です。

この例では、前置詞 in の目的語 this river が文の主語になっている。

問3 My little sister is a lot **10** talkative at home than at school. At school she must be trying to make people think she's a quiet and well-behaved

girl.

① as ② **more** ③ most ④ of

私の妹は、学校にいる時よりも家にいる時にずっとよくしゃべる。学校では静かで行儀の良い女の子だと人に思わせようとしているにちがいない。

## 【ポイント】

### 比較級

空所の後ろに than があるので、比較級になるように②moreを入れると正しい文になり、また、第2文と自然なつながりとなる。

[例] My grandmother is a lot **better** today **than** when you visited her last month.

祖母は、先月お見舞いに来ていただいたときと比べると、今日はずいぶんよくなっています。

・a lot+比較級「ずっと～／はるかに～」a lot は比較級を強調している。

・talkative 「おしゃべりな」

・make A+動詞の原形「Aに(無理やり)～させる」

・well-behaved 「行儀の良い」

### 【他の選択肢について】

④ of は、a lot of + 名詞で「たくさんの～」という意味を表すので、不可。

問4 I don't care what a car looks like as **11** as it gets me from my house to the office.

① far ② **long** ③ much ④ well

家から会社まで行けさえすれば、車の外観なんかどうだっていい。

## 【ポイント】

### 接続詞 as long as

as long as は、接続詞として「…しさえすれば／…する限り」という条件を表す。

[例] You may go out **as long as** you come back before dark.

暗くなる前に帰って来るなら、出かけてもいいよ。

・care 「気にする」

・what A looks like 「A がどんな外見をしているか」

### 【他の選択肢について】

① far は、as far as SV ... で、「…する限りでは」という意味を表す。条件ではなく、ある限られた何らかの範囲を表す。as far as S know, as far as S is concerned といった定型表現で通例用いられる。

[例] **As far as** I know, he is honest.

私の知っている限りでは、彼は正直だ。

③ much は, as much as ... で「…と同量の／同額の」という意味を表す。

[例] Take **as much as** you want.

欲しいだけ取りなさい。

④ well は, A as well as B で「B だけでなく A も」という意味を表す。

[例] He gave us food **as well as** clothes.

彼は私たちに、衣服だけでなく食べ物も与えてくれた。

問5 I hear that you two are getting married. This **12** for a celebration.

① **calls**    ② cries    ③ puts    ④ sets

あなた方2人がご結婚されると聞いてますよ。お祝いしなきゃいけないわね。

#### 【ポイント】

##### イディオム call for A

call for A は「A を必要とする／A を求める」という意味を表す。

[例] *The Times* crossword **calls for** a certain amount of literary knowledge.

タイムズ紙のクロスワードパズルは、ある程度、文学の知識が必要である。

- ・ get married 「結婚する」
- ・ celebration 「お祝い／祝賀会」

#### 【他の選択肢について】

② cries は, cry for A が「A を求めて泣き叫ぶ」という意味を表すので、不可。

問6 When I saw him on the street, I didn't recognize him **13**, because he was wearing a business suit.

① early                      ② fast  
③ gradually                ④ **immediately**

通りで彼を見かけたとき、すぐに彼とは分からなかった。というのも彼がビジネススーツを着ていたからだ。

#### 【ポイント】

##### 副詞 immediately

副詞 immediately は、「すぐに／ただちに」という意味を表す。

[例] The telephone rang, and he answered it **immediately**.

電話が鳴ると、彼はすぐに出た。

- ・ recognize 「(誰[何]であるか)分かる」

#### 【他の選択肢について】

① early は、「(ある決まった時間より)早く／(ある期間の中で)早いうちに」という意味を表すので、

不可。

② fast は、「(持続的な運動・動作の速度が)速く」という意味を表すので、不可

③ gradually は、「徐々に」という意味を表すので、不可。

問7 The dinner I had at the restaurant was expensive! Until then, I **14** so much on one meal.

① **had never spent**    ② have never spent  
③ never spend        ④ will never spend

私とそのレストランで食べたディナーは高かった！ そのときまで、1回の食事にそんな大金をはたいたことはなかった。

#### 【ポイント】

##### 過去完了形

「過去のある時点までの継続、完了、経験など」を表すとき、過去完了形(had+過去分詞)を用いる。本問では「そのレストランで食事をした」時点までの「1回の食事に大金を払う」という経験の有無について述べているので、過去完了形が用いられている。

[例] When I saw him, I realized we **had met** before.

彼の姿を見かけたとき、前に会ったことがあるのに気づいた。

問8 It was ( A ) cold this morning that I couldn't ( B ) my car to start. **15**

① **A : so**    B : get    ② A : so    B : make  
③ A : very    B : get    ④ A : very    B : make

今朝はとても寒かったので、車を始動させられなかった。

#### 【ポイント】

##### 1. so ~ that SV ...

so ~ that SV ... は「とても～なので…／…なほど～」という意味を表す。なお、very は that と相関的には用いられない。

[例] The line was **so long that** I could scarcely find the end of it.

その列はとても長かったので、最後尾がほとんど分からなかった。

##### 2. get A to-不定詞

get A to-不定詞は「A に～させる」という意味を表す。なお、make は make A + 動詞の原形で「A に(無理やり)～させる」という意味を表す。

[例1] We couldn't **get** him **to** sign the agreement.

彼にその同意書に署名させることができなかった。

[例2] My parents always **make me do** my homework before I go out to play.

私の両親は、いつも遊びに行く前に宿題をさせる。

問9 The train ( A ) were supposed to take was just leaving when we ( B ) at the station.

16

① A : we B : arrived

② A : we B : reached

③ A : which B : arrived

④ A : which B : reached

私たちが駅に到着したとき、乗ることになっていた列車が、ちょうど駅から出て行くところだった。

### 【ポイント】

#### 1. 接触節

名詞の直後に SV ... を置いて、その名詞を説明することがある。これを接触節と呼ぶ。また、目的格の関係代名詞 whom / which / that が省略され、先行詞 + SV ... の形をとったと考えてもよい。本問では、The train の後ろに we were supposed to take が続き、the train の説明をしている。we の前に which [that] が省略されていると考えてもよい。なお、③ ④ の which が入る場合、The train which となり、空所の直後は was でなければならないので、意味をなさず、不可。

[例] Most of the people **I met in Germany** were kind to foreign visitors.

私がドイツで出会った人のほとんどは、外国から訪れた人たちに親切だった。

#### 2. arrive at A

arrive at A は「A に到着する」という意味を表す。get to A, reach A もほぼ同じ意味を表す。

[例] It was already dark by the time they **arrived at** their hotel.

彼らがホテルに到着するまでに、すでに暗くなっていた。

・ be supposed to-不定詞「～することになっている」

問10 You have to pay ( A ) according to how much you earn, unless your income falls below a ( B ) level. 17

① A : fare B : certain ② A : fare B : sure

③ **A : tax B : certain** ④ A : tax B : sure

収入が一定水準を下回らない限り、給与収入に応じて税金を払わなければならない。

### 【ポイント】

#### 1. 名詞 tax

名詞 tax は「税金」という意味を表す。なお、fare は「運賃」という意味。

[例] The **fare** includes airport **tax** and surcharge.

その運賃には空港税とサーチャージが含まれています。

#### 2. certain+名詞

certain+名詞は「ある決まった～／ある(種の)～」という意味を表す。sure には、このような用法はない。

[例] You get to a **certain** level and then you want to change everything in order to improve.

ある決まったレベルまで達すると、うまくなるためにすべてを変えたいくなる。

・ according to A 「A に応じて／A にしたがって」

・ income 「収入」

・ fall below A 「A を下回る」

### B 対話文空所補充問題

問1 18

トム：お母さん、入る前にノックをしてくれないかな？

母：あら、ごめんなさい。でも、もう寝る時間よって言いに来たの。

トム：明日提出しなければならないレポートが終わりかけていたんだけど、そんな時にパソコンが動かなくなって、データが消えたんだよ！

母：教授に締め切りを延ばすようお願いすることはできないのかしら？

トム：②**無理だよ！** 信じてくれないよ！ 学生はいつもその言い訳を使うんだ！

・ it is high time S+動詞の過去形「もう～する時間だ」

[例] **It's high time** we were leaving home.

もう家を出ていてもいい時間だよ。

・ hand in A / hand A in 「A を提出する」

・ froze<freeze 「(コンピューターの画面が)動かなくなる」

・ data 「データ」 <datum の複数形

・ erase 「消去する」

・ ask A to-不定詞「A に～するように頼む」

・ professor 「教授」

・ put off A / put A off 「A を延期する」

・ deadline 「締め切り」

・ No way! 「無理だ! / まさか!」

【例】 “Shall we go to a movie tonight?”

“No way! Tomorrow I’ll have a test.”

「今晚、映画を見に出かけない？」

「無理だよ! 明日テストがあるんだ」

#### 【他の選択肢について】

① その通りだ!

③ いいね!

④ 気楽にね!

#### 【解法のヒント】

母が「教授に締め切りを延ばすようお願いすることはできないのかしら?」と提案した後で、トムが何と言ったかを問う問題。空所の直後でトムは「信じてくれないよ! 学生はいつもその言い訳を使うんだ!」と答えている。「その言い訳」とは、誤ってレポートのデータを消去したことを指していると考え、空所には母親の提案を受け入れない趣旨の発言が入ると分かる。したがって、②が正解。①と③は、母の提案を受け入れることになるので、不可。

#### 問2 19

ケイト：もしもし、シンジ。まだ仕事なの？

シンジ：やあ、ケイト。今日の仕事は終わったから、ちょうど会社を出ようとしているところだったんだよ。

ケイト：いいわね。それならタイミングがばっちりよ! 家に帰る途中でパンを買ってきてくれる？

シンジ：かまわないよ。②果物はどう？

ケイト：大丈夫よ。いくつかあるから。叔母さんが岩手からおいしいリングを送ってくれたのを覚えてないの？

・ at work 「仕事をして」

・ be done with A 「A が終わる」 (=have done with A)

・ be (just) about to-不定詞「まさに～しようとしている」

【例】 Sit down, everyone! The film **is about** to start.

みんな、すわりなさい! 映画が始まりますよ。

・ timing 「タイミング」

・ on *one's* way home 「家に向かう途中で」

・ No problem. 「かまいません／おあい御用です」

・ How about A? 「A はどうしますか? / A をしてはどうですか?」

【例】 You look irritated. **How about** some candy?

いらいらしているみたいね。飴はいかが?

・ remember (that) SV ... 「…ということを覚えている」

#### 【他の選択肢について】

① プレゼントを買う必要はあるかな?

③ 卵もいくつか買おうか?

④ 朝食にご飯はどう?

#### 【解法のヒント】

ケイトの「家に帰る途中でパンを買ってきてくれる?」という発言を受けて、シンジが「かまわないよ」と答えた後で何と言ったかを問う問題。ケイトの最終発話で「おいしいリング」を話題にしているので、空所には、果物を話題にする発言が入ると自然な流れになる。したがって、②が正解。

#### 問3 20

ジョージ：最後に会ってから、3年くらいだね。

ランディ：本当? 時がたつのは早いものだね。

ジョージ：その通り。ニューヨークでの生活はどうだい?

ランディ：本当は②故郷が恋しいんだ。シアトルの方がニューヨークよりも自分には合うみたいだよ。

ジョージ：ニューヨークも捨てたもんじゃないよ! 好きになるはずだよ!

ランディ：そうだといいな。とにかく、再会でできてうれしいよ!

・ it's been A since SV ... 「…して以来 A の歳月がたつ」

【例】 **It's been** twenty-one years **since** the J-League started.

J リーグが始まって以来 21 年がたつ。

・ around+数詞「およそ」

・ Time flies. 「時がたつのは早い／光陰矢の如し」 (=Time flies like an arrow.)

・ How do you like A? 「A はどうですか?」

【例】 “**How do you like** working in Manchester?”  
“It's not bad, though I'm not satisfied with my boss.”

「マンチェスターでの仕事はどう?」

「悪くないよ。上司には不満だけどね」

・ miss 「なつかしく思う／いないのを寂しく思う」

・ suit 「合う」



- ・ I'm sure (that) SV ... 「きっと…と思う」
- ・ come to-不定詞 「～するようになる」
- ・ anyway 「とにかく」

#### 【他の選択肢について】

- ① ここではすべてが刺激的だよ。
- ・ inspire 「刺激する／活気を与える」
- ③ 元気だよ。
- ④ 大都会で暮らすのはとても楽しいよ。

#### 【解法のヒント】

ジョージが「ニューヨークでの生活はどうだい？」と尋ねた後で、ランディがどのように答えたかを問う問題。空所の直後のランディの「シアトルの方がニューヨークよりも自分には合うみたいだよ」という発言から、空所にはシアトルへの思いを表す発言が入ると分かる。したがって、②が正解。

#### C 語句整序問題

##### 問1 21 22

ポール：新しいアシスタントの仕事ぶりはどうだい？  
ジョン：彼女は頼りになる女性だよ。彼女がすべてのことをテキパキと対処してくれるのを当てにできるんだ。

#### 【正解】

I know I can depend on her to deal with everything efficiently.  
②

#### 【ポイント】

##### 1. depend on A to-不定詞

depend on A 「A に頼る」に to-不定詞 が続くと、「A が～するのを当てにする」の意味になる。

[例] You can **depend on** Mr. Iwase **to** help you when in trouble.

困った時は、岩瀬氏が助けてくれるのを当てにできる。

##### 2. deal with A

deal with A は「A に対処する／A を処理する」の意味を表す。

[例1] He **dealt with** difficult problems one after another.

彼は次から次へと難問を処理した。

[例2] This matter is so urgent that it must be **dealt with** promptly.

この問題は緊急であるから、迅速に対処しなければなりません。

##### 問2 23 24

マリオ：誰か外出中に電話してきたかい？

秘書：ケイスケさんからありました。空港に到着次第、電話してくるそうです。

#### 【正解】

He said he'd phone you the moment he got to the airport.  
⑥

#### 【ポイント】

##### 1. the moment SV ...

the moment SV ... は「…するとすぐに」という意味を表す。as soon as SV ... とほぼ同意である。

[例] I recognized Arnold **the moment** I saw him.

He was a head taller than the crowd.

ひと目でアーノルドだと分かった。人混みから頭ひとつ出ていたから。

##### 2. get to A

get to A は「A に到着する」という意味を表す。arrive at [in] A や reach A も同意である。

[例] What time do we **get to** Milan?

ミラノには何時に着きますか？

##### 問3 25 26

ブリトニー：この曲を聴いてよ！ その歌手をどう思う？

ヒロミ：彼女の声には、どこかとても魅力的なところがあるように思うわ。

#### 【正解】

There seems to be something really attractive about her voice.  
①

#### 【ポイント】

##### 1. there is something+形容詞+about A

there is something+形容詞+about A は「A にはどこか～なところがある」という意味を表す。

本問では is が seems to be になっている。なお、形容詞が関係詞節になることもある。

[例1] **There is something** suspicious **about** the man's looks.

あの男の目つきには、どこかうさん臭いところがある。

[例2] **There is something** **about** the man's looks that make us suspect him.

あの男の目つきには、どこか疑いなくなる

ようなところがある。

## 2. seem to-不定詞

seem to-不定詞は「～のように思われる／～のように見える」という意味を表す。seem to be Cは、seem Cの形で用いられることもある。

[例1] Look at her third finger. She **seems to** be single.

彼女の薬指を見てごらん。独身みたいだね。

[例2] The woman didn't **seem** satisfied. She remained silent.

その女性は不満の様子でした。ずっと黙っていましたから。

## 第3問 文意把握読解問題

### A 意味類推問題

問1 **27**

#### 【全訳】

ジェス：多くの会社がハッカーに攻撃されているわね。ハッカーは、データに不正にアクセスするためには、どんなことでもやってくるのよ。

サム：あるコンピューターソフトの会社が、ハッカーを thwart ためのプログラムを開発した、ということを新聞で読んだよ。そのプログラムのおかげで、インターネット上のデータで違法な発信元にアクセスされるものは、だんだん少なくなってきたんだ。

ジェス：それを聞いてホッとしたわ。

#### 【語句・構文解説】

・hacker「ハッカー」他人のネットワークに不法に侵入して情報を読み取ったり、プログラムを破壊したりする人のこと。

・gain access to A「Aにアクセスする／Aを利用する」

[例] Some people still have difficulty **gaining access to** social services.

公共サービスを利用するのが未だに困難な人々もいる。

・illegal「違法な」

・software「ソフト(ウェア)」コンピューターのプログラムやその作成技術などの総称。

・develop「開発する」

・thwart「撃退する／退ける」

・thanks to A「Aのおかげで／Aが原因で」

[例] **Thanks to** the scholarship, I was able to

finish school.

奨学金のおかげで学校を出ることができた。

・less and less A「だんだん少なくなる A」

・access「アクセスする／データを読みに行く／(ネットに)接続する」

・be relieved to-不定詞「～して安心する」

[例] Irene **was relieved to** find out the truth.

アイリーンは本当のことが分かってホッとした。

#### 【設問解説】

この状況では、thwart は **27** を意味する。

① 手助けする

② 維持する

③ 防止する

④ 支持する

ジェスが「多くの会社がハッカーに攻撃されている」と心配するのに対し、サムは「コンピューターソフト会社が新しいプログラムを開発した」と言っている。その後ろでは、「そのおかげで、違法な発信元にアクセスされるものが少なくなった」と述べている。「ハッカーを thwart ためのプログラム」とは、「ハッカーが不正なアクセスをするのを防ぐためのプログラム」だと推測できる。したがって、「防止する」の意味の③が正解。

問2 **28**

#### 【全訳】

パット：やあ、ボブ。君は昇進したそうだね。

ボブ：うん、そうだよ。上司から言われた時、自分でも驚いたよ。

パット：すごいじゃないか。でも、新しく覚えなければならないことがたくさんありそうだね。

ボブ：そのとおり。get into the swing of things ことをしないとイケないんだ。まず第一に、新しい同僚をよく知る必要がある。

パット：新しい立場に早く慣れて楽しめるようになるといいね。

ボブ：ありがとう。

#### 【語句・構文解説】

・get a promotion「昇進する」

[例] His number one objective is to **get a promotion**.

彼の1番の目標は昇進することだ。

・boss「上司／社長」

・guess「…だろうと思う」

・plenty of A「多くの A」

- ・ get into the swing of things 「新しい状況で打ちとけ始める」

【例】 I've been here a week, and I'm only just beginning to **get into the swing of things**.

ここへ来て1週間なので、ほんの少し状況が分かり始めたばかりだ。

- ・ first of all 「まず第一に」
- ・ get to know 「知る」
- ・ coworker 「同僚」
- ・ get used to A 「Aに慣れる」

【例】 I haven't **gotten used to** the new system yet.

その新しいシステムにまだ慣れていない。

- ・ position 「立場」

#### 【設問解説】

この状況では、get into the swing of things は

**28** を意味する。

- ① 今の地位をかなり我慢している
- ② 昇進する用意ができています
- ③ ある場所から別の場所へと移動する
- ④ 新しい状況で打ちとけ始める

パットから「新しく覚えなければならないことがたくさんありそうだね」と言われたボブは「そのとおり」と答え、「get into the swing of things ことをしないといけないんだ」と述べている。続けてボブは「まず第一に、新しい同僚をよく知る必要がある」と言っているの、新しい仕事の内容や同僚との関係などをよく知るようにしなければならない、ということだと分かる。したがって、下線部は「新しい状況で打ちとけ始める」の意味だと推測できるので、④が正解。

#### B 不要文選択問題

問1 **29**

#### 【全訳】

話し方は、あなたが人に与える第一印象に影響する。聞き手は、あなたが選ぶ言葉によって、そして、それをどう口に出すかによって、あなたの頭の良さ、教養のレベル、リーダーシップの能力まで判断するのだ。①聞き手は、あなたの言葉に耳を傾け始める前に、声の調子を耳にする。②彼らは、着ている物もチェックする。③声が聞こえるように十分はっきりと大きな声で話さない。④退屈で一本調子の話し方になるのを避けるため、声の高さに変化をつけなさい。声と顔の両方で気持ちを表そう。そして、早口になりすぎないようにしよう。

#### 【語句・構文解説】

- ・ the way SV ... 「Sが…するやり方／様子」

【例】 I love to watch **the way** she plays with the children.

私は、彼女がその子どもたちと一緒に遊ぶ様子を見ているのが大好きです。

- ・ the first impression you make 「あなたが与える第一印象」 you make は the first impression を修飾する接触節。

make an impression 「印象を与える」

- ・ judge A by B 「BでAを判断する／評価する」本文では、your intelligence, your level of cultural knowledge, even your leadership ability がAで、the words you select と how you say them がBである。

【例】 You should not **judge** a book **by** its cover.

本の中身を表紙で判断すべきでない。(物事を見かけで判断してはならない)

- ・ intelligence 「頭の良さ／知能」
- ・ cultural 「教養の」
- ・ knowledge 「知識」
- ・ ability 「能力」
- ・ the words you select 「あなたが選ぶ言葉」 you select は the words を修飾する接触節。
- ・ how you say them 「あなたがそれらをどう言うか」 them は the words you select を指している。
- ・ tone of voice 「声の調子」
- ・ wear 「(衣服を)着ている」
- ・ clearly 「はっきりと」
- ・ loudly 「大きな声で」
- ・ ~ enough 「十分に～」
- ・ so that S can ... 「Sが…ように」

【例】 I'll get a map **so that** we **can** plan where we're going.

どこへ行くか、計画を立てられるように、地図を持ってきます。

- ・ pitch 「(音声の)高さ」
- ・ avoid 「避ける」
- ・ dull 「退屈な」
- ・ monotone 「一本調子／単調さ」
- ・ expression 「表現／表情」

#### 【解法のヒント】

本問は「話し方と第一印象」について書かれたものである。①, ③, ④が「話し方」について述べているのに対し、②はそれとは関係のない「服装」について述べているので、前後の文脈と合わないことになる。したがって、②が正解。

問2 30

【全訳】

アイザック・ニュートンは1642年、イギリスのウールズソープで生まれた。1661年にケンブリッジ大学のトリニティーカレッジで学び始めた。  
 ① 1665年にペストの大流行がイギリスを襲ったので、ニュートンは大学を離れ、故郷に戻った。その後ウールズソープで過ごした数年は、彼の研究生活で最も生産的だった。② 彼は同僚の科学者のほとんどに嫌われていた。③ 事実、26歳までに彼の最高の科学的な業績のほとんどを完成させていた。④ しかしながら、彼の最も有名な著書「プリンキピア」が出版されたのは1687年になってのことであった。ニュートンは1727年に死去し、ウエストミンスター寺院に埋葬されている。

【語句・構文解説】

- ・Isaac Newton 「アイザック・ニュートン」(1642-1727) イギリスの科学者・哲学者。万有引力の法則、微分積分学などの業績がある。
- ・Woolsthorpe 「ウールズソープ」ニュートンの生まれた英国イングランド地方の村。
- ・Trinity College 「トリニティーカレッジ」ケンブリッジ大学のカレッジの一つ。
- ・Cambridge University 「ケンブリッジ大学」13世紀創立の英国の大学。29のカレッジから成る。
- ・outbreak 「大流行／急激な発生」
- ・plague 「ペスト／疫病」1664-65年のロンドンの大疫病は the London Plague (=the Great Plague) と呼ばれる。
- ・struck < strike 「(病気などが)襲う」の過去・過去分詞。

【例】 A typhoon **struck** that area of the country.  
 台風が国のその地域を襲った。

- ・productive 「生産的な／実りの多い」
- ・career 「経歴／生涯」
- ・complete 「完成する」
- ・Principia 「プリンキピア」ニュートンが1687年に出版した物理学の著書。「自然哲学の数学的諸原理」と題されており、ユークリッドの「原論」に倣った構成になっている。
- ・not ... until ～ 「～になって初めて…」

【例】 It is said that Albert did **not** start to speak normally **until** he was five.

アルバートは5歳になって初めて普通に話したと言われている。

- ・publish 「出版する／公表する」

- ・bury 「埋葬する／埋める」
- ・Westminster Abbey 「ウエストミンスター寺院」ロンドンにあるゴシック風の大教会堂。

【解法のヒント】

本問は、ニュートンが1642年に誕生し1727年に亡くなるまでの生涯を簡単にまとめたものである。  
 ③には「事実、26歳までに彼の最高の科学的な業績のほとんどを完成させていた」と書かれている。in fact 「事実」は前述の内容をさらに詳しく述べる場合などに用いられるが、前の②には「ニュートンが科学者たちから嫌われていた」と書かれていて、③とは関係のない内容である。よって、②が正解。②を取り除くと、その前の「ウールズソープで過ごした数年は、彼の研究生活で最も生産的だった」という文について③で詳しく述べていることになり、自然なつながりになる。

問3 31

【全訳】

欧米のほとんどの文化で、多くの人が数字の13を不吉だと考えている。例えば、米国では、多くの都市に13番通りがなく、多くのビルに13階がない。① 13日の金曜日を不吉な日 —— 多くのことがうまくいかないかもしれない日 —— だと信じている人々もいる。② 13日の金曜日に関する迷信の正確な由来は分かっていない。③ 異なる文化では、他の数字が不吉だと信じられている。④ しかしながら、この日についての迷信的な恐怖は、一つには不幸な出来事のために、何年もの間に強まり、広がってきた。18世紀に、13日の金曜日に進水をした船 —— 英国軍艦フライデー号 —— が航海中に行方不明になった。1992年のある13日の金曜日には、トルコの地震で何千人もの人々が亡くなった。

【語句・構文解説】

- ・consider O to be C 「OをCと考える」

【例】 Remarks like this are generally **considered to be** unacceptable today.

このような発言は今日では一般に受け入れられないものと考えられている。

- ・those who ... 「…する人々」
- ・one on which many things can go wrong 「多くのことがうまくいかないかもしれない日」 on which ... は one (=a day) を修飾する関係代名詞節。

go wrong 「うまくいかない／悪い結果になる」

【例】 If anything can **go wrong**, it will, and at the worst possible time.

何か失敗する可能性があるとするれば、失敗するだろう。しかも起こりうる最悪の時に。

- ・ exact 「正確な」
- ・ origin 「由来／起源」
- ・ superstition 「迷信」
- ・ unknown 「分かっていない／不明な」
- ・ superstitious 「迷信的な」
- ・ fear 「恐怖」
- ・ date 「日付」 this date は「13日の金曜日」のこと。
- ・ spread 「広がる」
- ・ over the years 「何年もの間に」
- ・ thanks to A 「A が原因で／Aのおかげで」
- ・ in part 「一つには／部分的には」

【例】 The accidents were due **in part** to the bad weather.

それらの事故は、一つには悪天候が原因だった。

- ・ unfortunate 「不幸な」
- ・ the *HMS Friday* 「英国軍艦フライデー号」  
HMS=His [Her] Majesty's Ship 「英国軍艦」
- ・ launch 「(新造船を)進水させる」
- ・ at sea 「航海中に／海で」
- ・ Turkey 「トルコ」
- ・ thousands of A 「何千もの A」

#### 【解法のヒント】

本問は、欧米で不吉だと考えられている数字の「13」について述べたものである。①と②で「13日の金曜日」が言及されており、④の this date は Friday the 13th を指していると考えられる。これに対して、③は other numbers が「13以外の数字」を意味することになるので、前後の文脈に合っていない。したがって、③が正解。

#### C 意見要約問題

32

##### 【全訳】

市長：それでは、始めましょう。東京と私たちの市を結ぶことを意図したりニア新幹線の建設計画に賛同すべきかどうか話し合うために、ここに10数名の方がいらしています。どなたか最初に発言したい方はいらっしゃいますか？ …はい、オザキさん。

オザキ氏：私には新しい高速鉄道を建設する理由が見つかりません。現在ある高速鉄道でも、何百万人もの人々を都市から都市へ運ぶのに十分役立っているではありません

せんか？ 例えば、私は朝7時に大阪の自宅を出ると、銀座にある本社での午前10時の定例会議のかなり前に東京駅に着けます。この計画によると、今よりも約1時間半早く東京に着けるようになりますが、それで生活が今よりはるかに便利になるとは思えません。私たちの交通網はすでにとても便利になっているからです。

市長：つまり、あなたは 32 とお考えですね。

#### 【語句・構文解説】

- ・ mayor 「市長」
- ・ get started 「始める」
- ・ dozen 「十数人[個]の／12の」
- ・ discuss 「話し合う」
- ・ agree to A 「Aに賛同する」
- ・ construct 「建設する」
- ・ a maglev line designed to connect Tokyo and our city 「東京と私たちの市を結ぶことを意図したりニア新幹線」 designed 以下は a maglev line を修飾する過去分詞句。  
designed to-不定詞「～するよう意図された／～する狙いの」

【例】 The law was **designed to** protect victims from nuisances such as noisy neighbors.

その法律は、騒音を立てる隣人のような迷惑な人々から被害者を保護することを狙っていた。

maglev 「リニア鉄道／磁気浮上式鉄道」 magnetic levitation (磁気浮上) から出来た語。

line 「(鉄道の)路線／幹線」

connect A and B 「AとBを結ぶ」

- ・ present 「現在の」
- ・ work 「機能する／役に立つ」
- ・ transport 「運ぶ／輸送する」
- ・ millions of A 「何百万もの A」
- ・ well ～ 「かなり～」
- ・ head office 「本社」
- ・ according to A 「Aによると」

【例】 **According to** Freud, our dreams represent our hidden desires.

フロイトによると、私たちが見る夢は隠れた願望を表している。

- ・ ～ earlier 「(時間が)～早く」
- ・ transport links 「交通網／交通の便」



【設問解説】

32

- ① その新しい高速鉄道ができると、東京と私たちの街はずっと近くなるだろう
- ② その新しい高速鉄道ができて、私たちのここの生活はほとんど変わらないだろう
- ③ 現在ある高速鉄道は、生活を少しも便利にしてこなかった
- ④ 現在ある高速鉄道は、十分うまく機能していない

オザキ氏は最後に I don't think it will make life much easier because our transport links are already very good. 「それで生活が今よりはるかに便利になるとは思えません。私たちの交通網はすでにとても便利になっているからです」と述べているので、リニア新幹線ができて生活がほとんど変わらないという内容の②が正解。①は、計画の内容が According to the plan, we can be in Tokyo about one and a half hours earlier 「この計画によると、今よりも約1時間半早く東京に着けるようになる」と述べられているが、これはオザキ氏の言いたいことではないので、不正解。③と④は、オザキ氏の発言の第2文に The present high-speed line is working well enough to transport millions of people between cities, isn't it? 「現在ある高速鉄道でも、何百万人もの人々を都市から都市へ運ぶのに十分役立っているではありませんか?」とあることに反するので、いずれも不正解。

33

【全訳】

オザキ氏：そのとおりです。

シマさん：それよりもっと重要なことは、建設費用がどこから出てくるのかということです。日本は高齢化社会になっており、近い将来、労働力が縮小することが予想されています。

市長：ということは、シマさん、我が国の経済もまた縮小し、建設に使うための予算に十分なお金が割けなくなるだろうとおっしゃりたいのですよね？

シマさん：あの、必ずしもそういうことを言っているわけではありません。縮小していく国家予算は、例えば社会福祉やグリーンエネルギー、そして最も重要なこととして東日本大震災からの復興のような、他のことに向けられるべきです。

市長：ありがとうございます、シマさん。あな

たの言いたいことは、33ですね。

【語句・構文解説】

- ・ construction 「建設」
- ・ aging society 「高齢化社会」
- ・ workforce 「労働力」
- ・ be expected to-不定詞「～すると予想されている」
- ・ shrink 「縮小する」
- ・ in the near future 「近い将来」

[例] I have no plans to travel **in the near future**.

近い将来、旅行をする予定はない。

- ・ economy 「経済」
- ・ budget 「予算」
- ・ spend A on B 「A(お金)をBに使う」
- ・ not exactly 「必ずしも…でない」部分否定の表現。

[例] That is **not exactly** what she said.

それは必ずしも彼女の言葉どおりではない。

- ・ national 「国家の」
- ・ go on A 「(お金が)Aに使われる」
- ・ A, such as B 「A, 例えばB / (例えば)BのようなA」
- ・ social welfare 「社会福祉」
- ・ green energy 「グリーンエネルギー」風力、太陽光、水力、地熱、バイオマスなど自然の力を利用したエネルギー。
- ・ most importantly 「最も重要なことには」
- ・ recover from A 「A(災害など)から復興する」

【設問解説】

33

- ① お年寄りたちが新高速鉄道の完成をその目で見ることはないだろう
- ② 社会福祉は現在の高齢化社会では第1番の優先事項である
- ③ **新高速鉄道よりも優先すべきことが数多くある**
- ・ take priority over A 「Aよりも優先する」
- ④ 私たちは縮小しつつある労働力を増強しなければならない
- ・ build up A 「Aを増強する」

シマさんは2回目の発言の第2文で Our shrinking national budget should go on other things, such as social welfare, green energy and, most importantly, recovering from the Great East Japan Earthquake. 「縮小していく国家予算は、例えば社会福祉やグリーンエネルギー、そして最も重要

なこととして東日本大震災からの復興のような、他のことに向けられるべきです」と述べているので、③が正解。①は、そのような内容をシマさんは言っていないので、不正解。②は、上に述べた文より、不正解。④は、シマさんの1回目の発言の第2文に関連するが、労働力を増強するべきだとは言っていないので、不正解。

34

#### 【全訳】

チャン氏：あなたの言われたことは、すべてごもっともですが、我々は技術的な視点から新高速鉄道について議論すべきです。

市長：チャンさん、おっしゃりたいことをもっと詳しく説明してください。

チャン氏：分かりました。皆さんご存じのように、現在の高速鉄道が完成して50年近くなります。現在の高速鉄道は、我々の社会とまったく同じように高齢になっているので、自然災害に耐えられないかもしれません。したがって、この鉄道は大規模な改修工事が必要になるでしょう。その改修中に、どうやって東京まで行けるのですか？ 在来線を使いますか？ もしも何百万人もの人が車で東京に行くことになれば、どうなるでしょう？ それとも飛行機で行きますか？ 羽田国際空港が、すぐに満杯になるでしょう。

市長：これはまったく違った視点です。チャンさん、あなたは **34** ということ強調されていますね。

チャン氏：まさにそうです！ 私に説明させてくださってありがとうございます。

#### 【語句・構文解説】

・Everything you have said 「あなたの言ったすべてのこと」 you have said は Everything を修飾する接触節。

・make sense 「道理にかなう／意味をなす」

[例] Her argument **makes** perfect **sense**.

彼女の主張はきわめて理にかなっている。

・from a ~ point of view 「～の視点から」

・in more detail 「もっと詳しく」

[例] Phrasal verbs will be considered **in more detail** in Chapter 9.

句動詞は第9章でもっと詳しく考察する。

・As you all know, ... 「皆が知っているように…」

・complete 「完成させる」

・survive 「耐える／生き残る」

・natural disaster 「自然災害」

・It follows that SV ... 「(論理的帰結として)…ということになる」

[例] **It follows** from what she says **that** he is guilty.

彼女の言うことから判断すると、彼は有罪ということになる。

・require 「必要とする」

・repair work 「改修工事」

・on a massive scale 「大規模な」

・local line 「在来線」

・What if SV ...? 「もし…したら、どうなるだろう?」

[例] **What if** something goes wrong?

もし何かがうまくいかなかったら、どうなるだろう?

・by air 「飛行機で」

・Haneda International Airport 「羽田国際空港」

・at full capacity 「収容能力の限界まで／満杯の状態で」

・completely 「まったく／完全に」

・viewpoint 「視点」

・emphasize 「強調する」

・Exactly! 「まさにそうです!」

#### 【設問解説】

34

① 新しい国際空港を建設すべきだ

② 我々は、地震についてもっと学びさえすればよい

・All S have to do is + 動詞の原形 「Sは～しさえすればよい」

③ 現在の高速鉄道を改修することほど緊急に必要なことはない

④ **新高速鉄道は東京へ行く代替路線として必要だ**

・alternate route 「代替(交通)路線／代替交通手段」

チャン氏は2回目の発言の第4・5文で It follows that the line will require repair work on a massive scale. During the repairs, how will people be able to get to Tokyo? 「したがって、この鉄道は大規模な改修工事が必要になるでしょう。その改修中に、どうやって東京まで行けるのですか?」と述べており、その後に続けて車や飛行機の利用に限界があることを説明しているため、④が正解。①と②は、そのような内容をチャン氏は述べていないので、不正解。③は、上に述べた文の内容から、改修工事の必要なことに触れてはいるが、最も

緊急に必要だとまでは言っていないので、不正解。

#### 第4問 図表読み取り問題

##### A 図表問題

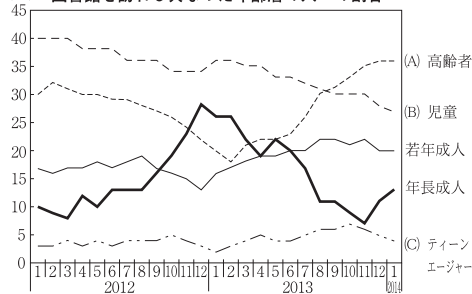
###### 【全記】

私たちの市の中心部には大きな図書館があるが、近所の人々は、そこが遠すぎるとしばしば不平を言っている。そこで私たちのコミュニティは、近隣地区に小さな図書館を開館することを決めた。準備は2009年12月に始まった。

最初は、図書館を設立するのに十分な本を集めるのが難しいように思われたが、市からの補助金で購入できた本に加え、親切な幾人かの本の愛好者から、いくらかの本を寄付してもらった。2012年1月、ついに合計15,000冊の蔵書で図書館を開館することができ、開館以来毎月500冊の本を加えていくことができています。

図書館を訪れる人の数を知るために、職員は図書館利用者を5つの年齢層、すなわち13歳未満(児童)、13～19歳(ティーンエージャー)、20～40歳(若年成人)、41～65歳(年長成人)、65歳を超える人(高齢者)に分け、経過を追跡している。下のグラフは、それぞれの年齢層に属する人がどのような割合で図書館を利用するかを示している。

(%) 図書館を訪れる異なった年齢層の人々の割合



グラフを見ると、5つのカテゴリーの割合が大きく変化してきたことが分かる。当初、職員はそれぞれの年齢層に対して同じ数の本を用意しようとしたが、1年目は、児童がこの図書館を最も頻りに訪れたのに対し、中学生は来る回数がずっと少ないということが分かった。彼らは若年成人より来る頻度がさらに低かった。若年成人の多くは、忙しくて本を読む時間が見つけれられないと思われている。実際、若年成人は全利用者の4分の1以上を占めたことがない。調査チームのメンバーは、コミュニティ図書館を利用する中学生が比較的小さい理由を、学校図書館のほうが利用しやすいためだろうと推測している。また、高齢者の図書館利用は、考えられてい

たよりも少ないということも分かった。

しかし2年目に、図書館の利用は大きく変化した。中学生は相変わらずこの図書館を利用することに関心があまりないように見えたが、高齢者が図書館を訪れる頻度は着実に増加し始めた。図書館の職員は、新しい本を置くための場所が足りないという問題に直面しているので、人気のない本を処分し、高齢者向けの本の数をさらに増やしていくことを考えている。

##### 【訳と語句・構文解説】

###### ◆第1段落◆

There is a large library in the center of our city, but people in my neighborhood often complain it is too far away. So our community decided to open a small library in our neighborhood. The preparations started in December 2009.

私たちの市の中心部には大きな図書館があるが、近所の人々は、そこが遠すぎるとしばしば不平を言っている。そこで私たちのコミュニティは、近隣地区に小さな図書館を開館することを決めた。準備は2009年12月に始まった。

- ・ neighborhood 「近所」
- ・ complain 「不平を言う」
- ・ far away 「遠い」
- ・ community 「コミュニティ／共同体」
- ・ decide to-不定詞「～することを決める」
- ・ preparation 「準備」

###### ◆第2段落◆

At first, it seemed it would be difficult to collect enough books to establish a library, but in addition to those we were able to purchase with the grant money from the city, some books were donated by several kind booklovers. We were finally able to open the library in January 2012, with a total of 15,000 books, and since then, we have been able to add 500 books a month.

最初は、図書館を設立するのに十分な本を集めるのが難しいように思われたが、市からの補助金で購入できた本に加え、親切な幾人かの本の愛好者から、いくらかの本を寄付してもらった。2012年1月、ついに合計15,000冊の蔵書で図書館を開館することができ、開館以来毎月500冊の本を加えていくことができています。

- ・ at first 「最初(のうちは)」



- ・ enough A to-不定詞「～するのに十分な A」

[例] He has **enough** money **to** pay for the car.  
彼はその車の代金を払うのに十分な金を持っている。

- ・ establish 「設立する」
- ・ in addition to A 「A に加えて」

[例] **In addition to** the rough sea, there was a thick fog.

海が荒れていたことに加え、霧が深かった。

- ・ those we were able to purchase 「購入することができた本」 we were able to purchase は those を修飾する接触節。those は the books のこと。
- purchase 「購入する」
- ・ grant money 「補助金」
- ・ donate 「寄付する」
- ・ booklover 「本の愛好者／読書好きの人」
- ・ finally 「ついに」
- ・ total 「合計」
- ・ add 「加える」
- ・ a month 「1 カ月につき／毎月」

[例] We have a meeting once **a month**.

私たちは月 1 回、会合を開く。

#### ◆第 3 段落◆

To find out how many people visit the library, the staff have divided library users into five age groups — under 13 (children), 13 to 19 (teenagers), 20 to 40 (younger adults), 41 to 65 (older adults), and over 65 (elderly people) — and keep track of them. The graph below shows what percentage of people of each age group use the library.

図書館を訪れる人の数を知るために、職員は図書館利用者を 5 つの年齢層、すなわち 13 歳未満(児童)、13～19 歳(ティーンエージャー)、20～40 歳(若年成人)、41～65 歳(年長成人)、65 歳を超える人(高齢者)に分け、経過を追跡している。下のグラフは、それぞれの年齢層に属する人がどのような割合で図書館を利用するかを示している。

- ・ find A out / find out A 「A (の真相)を知る／調べる」

[例] I want to **find out** who did this.

私は誰がこんなことをしたのか知りたいのだ。

- ・ staff 「職員」
- ・ divide A into B 「A を B に分ける」

[例] The teacher **divided** the pupils **into** four

groups.

教師は生徒を 4 つのグループに分けた。

- ・ teenager 「ティーンエージャー／10 代の若者」
- ・ younger adult 「若年成人」
- ・ older adult 「年長成人」
- ・ elderly 「高齢の」
- ・ keep track of A 「A の経過を追う」

[例] It is difficult to **keep track of** all the new discoveries in genetics.

遺伝学における新発見すべてを追っていくのは難しい。

#### ◆第 4 段落◆

Looking at the graph, you will see that the percentages of the five categories have changed greatly. At the start, the staff tried to provide an equal number of books for each age group, but during the first year, they found that children visited the place most frequently, while junior and senior high school students came much less often. They came even less often than younger adults, many of whom are thought to be too busy to find time to enjoy books. In fact, younger adults have never accounted for more than one quarter of the total users. The research team members guess the reason why relatively few high school students use the community library is that they have easier access to their school libraries. They also found that fewer elderly people made use of the library than they had thought.

グラフを見ると、5 つのカテゴリの割合が大きく変化してきたことが分かる。当初、職員はそれぞれの年齢層に対して同じ数の本を用意しようとしたが、1 年目は、児童がこの図書館を最も頻繁に訪れたのに対し、中高生は来る回数がずっと少ないということが分かった。彼らは若年成人より来る頻度がさらに低かった。若年成人の多くは、忙しくて本を読む時間が見つけれられないと思われる。実際、若年成人は全利用者の 4 分の 1 以上を占めたことがない。調査チームのメンバーは、コミュニティー図書館を利用する中高生が比較的少ない理由を、学校図書館のほうが利用しやすいためだろうと推測している。また、高齢者の図書館利用は、考えられていたよりも少ないということも分かった。

- ・ percentage 「割合／比率」
- ・ category 「カテゴリー／範疇」
- ・ provide A for B 「A を B に供給する／用意する」

- ・ equal 「等しい」
- ・ frequently 「頻繁に」
- ・ They came even less often than younger adults, many of whom are thought to be too busy to find time to enjoy books. 「彼らは若年成人より来る頻度がさらに低かった。若年成人の多くは、忙しくて本を読む時間が見つけれないと思われている」 many of whom ... enjoy books は younger adults を補足的に説明する関係代名詞節。 even less often 「さらにいっそう頻度が低く」 even は形容詞・副詞の比較級を強調する。 be thought to-不定詞 「～すると思われている」 too ... to-不定詞 「あまりに…で～できない／～するには…すぎる」

- ・ account for A 「A を占める」
- ・ more than A 「A 以上」
- ・ one quarter 「4 分の 1」
- ・ research 「調査」
- ・ guess 「推測する」
- ・ relatively 「比較的」
- ・ have access to A 「A を利用できる」

[例] Most students at the university **have access to** these computers.

この大学のほとんどの学生がこれらのコンピューターを利用できる。

- ・ make use of A 「A を利用する」

[例] Few people **make use of** the institute.  
その施設を利用する人はほとんどいない。

#### ◆第5段落◆

In the second year, however, library usage changed a lot. Though junior and senior high school students still seemed less interested in using this library, the frequency with which elderly people visited the library began steadily going up. The library staff are now faced with a shortage of space for new books, so they are thinking of discarding unpopular books and further increasing the number of books for the elderly.

しかし2年目に、図書館の利用は大きく変化した。中高生は相変わらずこの図書館を利用することに関心があまりないように見えたが、高齢者が図書館を訪れる頻度は着実に増加し始めた。図書館の職員は今、新しい本を置くための場所が足りないという問題に直面しているので、人気のない本を処分し、高齢者向けの本の数をさらに増やしていくこと

を考えている。

- ・ the frequency with which elderly people visited the library 「高齢者が図書館を訪れた頻度」 with which ... the library は frequency を修飾する関係詞節。

frequency 「頻度」

- ・ steadily 「着実に」

- ・ be faced with A 「A に直面している／A に向き合う」

[例] You must **be faced with** the reality.

あなたは現実と向き合わなければならない。

- ・ shortage of A 「A の不足」

[例] People in that area are suffering from a **shortage of** water.

その地域の人々は水不足に苦しんでいる。

- ・ think of ~ing 「～することを考える」
- ・ discard 「捨てる」
- ・ unpopular 「人気がない」
- ・ further 「さらに」
- ・ increase 「増やす」
- ・ the elderly 「高齢者」

#### 【設問別解説】

問1 2014年1月現在で、図書館にはおよそ何冊の本があるか？ **35**

- ・ as of A 「A の時点で」

- ① 15,500
- ② 21,000
- ③ **27,000**
- ④ 33,000

第2段落第2文に We were finally able to open the library in January 2012, with a total of 15,000 books, and since then, we have been able to add 500 books a month. 「2012年1月、ついに合計15,000冊の蔵書で図書館を開館することができ、開館以来毎月500冊の本を加えていくことができてい」とある。2012年1月に開館しているので2014年1月の時点では24カ月経過していることになる。よって、 $15,000 + 500 \times 24 = 27,000$  となり、正解は③。

問2 グラフにおいて(A), (B), (C)で表されている3つの年齢層の組合せは次のどれか？ **36**

- ① (A) 児童 (B) 高齢者  
(C) ティーンエイジャー
- ② (A) 児童 (B) ティーンエイジャー  
(C) 高齢者
- ③ (A) **高齢者** (B) **児童**

(C) ティーンエージャー

- ④ (A) 高齢者 (B) ティーンエージャー  
(C) 児童

第4段落第2文に during the first year, they found that children visited the place most frequently 「1年目は、児童がこの図書館を最も頻繁に訪れたことが分かった」とあることから、(B)が「児童」となる。また同文の後半部分と、続く第3文に junior and senior high school students came much less often. They came even less often than younger adults, 「中高生は来る回数がずっと少ない。彼らは若年成人より来る頻度がさらに低かった」とあることから、グラフで若年成人より割合の低い(C)が「ティーンエージャー」となる。また、第5段落第1, 2文に In the second year, however, library usage changed a lot. Though junior and senior high school students still seemed less interested in using this library, the frequency with which elderly people visited the library began steadily going up. 「しかし2年目に、図書館の利用は大きく変化した。中高生は相変わらずこの図書館を利用することに関心があまりないように見えたが、高齢者が図書館を訪れる頻度は着実に増加し始めた」とあるので、2013年に入って上昇傾向にある(A)が「高齢者」となる。よって正解は③。

問3 次の記述のうち正しいものはどれか？ **37**

- ① 本を借りたいと思う中高生は、おそらく学校の図書館のほうが利用しやすいと思っている。  
② 新しいコミュニティ図書館の開館を準備するのに、3年以上かかった。  
③ 人々がコミュニティ図書館を開館することに決めたのは、市に図書館がなかったからだ。  
④ そのコミュニティは、市当局からの何の助けも借りることなく図書館を開館することができた。

第4段落第5文 The research team members guess the reason why relatively few high school students use the community library is that they have easier access to their school libraries. 「調査チームのメンバーは、コミュニティ図書館を利用する中高生が比較的少ない理由を、学校図書館のほうが利用しやすいためだろうと推測している」より、正解は①。②は、第1段落第3文に The preparations started in December 2009. 「準備は2009年12月に始まった」とあり、第2段落第2文に We were finally able to open the library in January 2012 「2012年1月、ついに図書館を開館す

ることができた」とあることから、開館までの準備に2年ほどしかかかっていないことが分かるので、不正解。③は、第1段落第1文に There is a large library in the center of our city, but people in my neighborhood often complain it is too far away. 「私たちの市の中心部には大きな図書館があるが、近所の人々は、そこが遠すぎるとしばしば不平を言っている」とあるので、不正解。④は、第2段落第1文に in addition to those we were able to purchase with the grant money from the city 「市からの補助金で購入できた本に加え」とあるので、不正解。

問4 図書館の職員は近い将来おそらく何をするか？ **38**

- ① 子どもたちにもっと頻繁に図書館を訪れるように促す。  
② 利用者の間であまり人気のない本を処分する。  
・ get rid of A 「Aを取り除く」  
③ ティーンエージャーと高齢者向けの本を増やす。  
④ 床面積を拡張するために図書館を改築する。  
・ renovate 「改築する」

第5段落第3文に The library staff are now faced with a shortage of space for new books, so they are thinking of discarding unpopular books and further increasing the number of books for the elderly. 「図書館の職員は今、新しい本を置くための場所が足りないという問題に直面しているので、人気のない本を処分し、高齢者向けの本の数をさらに増やしていくことを考えている」とあるので、正解は②。③は、本文に「ティーンエージャー向けの本を増やす」ということを示す記述がないので、不正解。①と④も、本文に記述がないので、不正解。

## 【全訳】

## ポर्टレートケーキ

## あなたの特別な日のために

ポर्टレートケーキは、お祝い事が何であれ、この上ない選択肢となります。当店では、あなたの写真をお借りし、それをスキャナーで読み取って、食べることのできるカラーの写真入りケーキをお作りいたします。インクは食品着色料でできています。ケーキに写真をトッピングすることほど、ケーキをお客様だけのものにすることはございません。

## ご注文の方法

ご注文はお祝い事の少なくとも3日前までをお願いします。まず、当店までお越しいただき、ご注文なされたいケーキの種類を決めていただきます。その際、数枚の写真をお持ちください。写真は、美しい写真入りケーキを作るのに十分鮮明で大きなものをご持参ください。ポर्टレートケーキを以前ご注文なさったことがある場合には、電話をしていただき、写真をeメールでお送りいただくことが可能です。

## 価格(税込)

	直径	<div>  </div> 小さい写真	<div>  </div> 大きい写真
円形イチゴケーキ	8 インチ	35 ドル	55 ドル
	12 インチ	50 ドル	70 ドル
円形チョコレートケーキ	8 インチ	30 ドル	50 ドル
	12 インチ	45 ドル	65 ドル

- ・ケーキ代のお支払いはご注文時をお願いします。キャンセルは、5日前までにお知らせいただければ無料ですが、それ以降は、価格の50パーセントのみのご返金となります。
- ・近隣地域(10マイル以内)の配達は、どのケーキでも5ドルとなります。10マイルを越える配達には、5ドルに加えて、1マイルにつき50セントの料金がかかります。配達料金は配達担当者に直接お支払いください。申し訳ございませんが、20マイルを越える地域への配達はできません。
- ・当店では日常的に、ピーナッツやアーモンドなどのナッツ製品を使用しています。ナッツ製品に強いアレルギー反応がある方には、当店のいかなる製品もお召し上がりになることをお勧めいたしません。

## 【語句・構文解説】

- ・ portrait 「ポートレート／人物写真」
- ・ special 「特別な」
- ・ occasion 「重要な行事」
- ・ excellent 「すばらしい／この上ない」
- ・ option 「選択肢」
- ・ no matter what S is 「S が何であろうと」
- ・ scan 「画像をスキャナーで取り込む」
- ・ create 「作る」
- ・ edible 「食べることのできる／食用の」
- ・ in color 「カラーの」
- ・ be made from A 「A(原料)から作られる」

〔例〕 Bread **is made from** flour, water, and yeast.

パンは小麦粉と水とイーストからできている。

- ・ food coloring 「食品着色料」
- ・ Nothing ... 比較級 + than A 「A ほど…なものはない」
- ・ make A + 形容詞 「A を～にする」
- ・ personal 「特定の個人にあてた／パーソナルな」
- ・ top A with B 「A を B でトッピングする」

〔例〕 The pizza is **topped with** anchovies and green peppers.

そのピザにはアンチョビとピーマンがトッピングされている。

- ・ photograph 「写真」
- ・ order 「注文(する)」
- ・ prior to A 「A より前に」
- ・ would like A to-不定詞 「A に～してほしい」
- ・ by phone 「電話で」
- ・ e-mail 「e メールで送る」
- ・ price 「価格／料金」
- ・ tax included 「税込」
- ・ round 「円形の／丸い」
- ・ diameter 「直径」
- ・ inch 「インチ」 1 インチは 2.54 センチ。
- ・ cancellation 「キャンセル／注文の取りやめ」
- ・ notify 「知らせる」
- ・ in advance 「事前に」

〔例〕 You should book a seat **in advance**.

座席は前もって予約しておいたほうがいい。

- ・ refund 「返金」
- ・ delivery 「配達」
- ・ local 「近隣の／地元の」
- ・ up to A 「最高 A まで」
- ・ charge 「料金」

- ・ plus A 「A を加算して」
- ・ directly 「直接」
- ・ nut product 「ナッツ製品」
- ・ on a daily basis 「日常的に／日々」

〔例〕 The building is inspected **on a daily basis**.

その建物は毎日点検される。

- ・ severe 「ひどい／深刻な」
- ・ allergic 「アレルギーの」
- ・ reaction 「反応」
- ・ recommend 「勧める」
- ・ consume 「食べる／消費する」

## 【設問別解説】

問1 客が初めて写真入りケーキを注文する場合にはどうすればよいか？ **39**

- ① 写真を店に持参すべきだ。
- ② e メールか電話で注文すべきだ。
- ③ ケーキがほしい日の 2 日前に注文すべきだ。
- ④ e メールで写真を送るべきだ。

広告の第 2 段落第 2, 3 文に First, we would like you to come to our store and decide which type of cake you want to order. Please bring a few photos with you at that time. 「まず, 当店までお越しいただき, ご注文なさりたいケーキの種類を決めていただきます。その際, 数枚の写真をお持ちください」とあるので, 正解は①。②と④は, 同段落最終文より 2 回目以降の客の注文方法であることが分かるので, 不正解。③は, 同段落第 1 文 You have to order at least three days prior to your occasion. 「ご注文はお祝い事の少なくとも 3 日前までをお願いします」より, 不正解。

問2 大きな写真入りの直径 8 インチのチョコレートケーキを注文し, 店から 12 マイル離れた自宅にケーキを届けてもらうように頼む場合, 合計でいくら支払うことになるか？ **40**

- ① 55 ドル
- ② 56 ドル
- ③ 57 ドル
- ④ 61 ドル

広告内の価格表より, 大きな写真を使った直径 8 インチのチョコレートケーキは 50 ドルであることが分かる。また, 表の下にある 2 つ目の注意書きによれば, 配達料は 10 マイルまで 5 ドルで, それを超える分は 1 マイルにつき 50 セントとある。よって 12 マイルの場合の配達料は, 基本料金の 5 ドルに加え, 超過の 2 マイル分 (50 セント × 2 = 1 ドル) がかかるので, 6 ドルとなる。よって, 支払うべき料金は合計で 56 ドルになるので, 正解は②。

問3 次の記述のうち正しいものはどれか？ **41**

- ① 客は、注文する時にケーキ代と配達料金の両方を同時に支払わなければならない。
- ② ナッツ類にアレルギーがある場合には、店に頼んでナッツ類を使わないようにしてもらうことができる。
- ③ 行事の2日前に注文をキャンセルする場合、ケーキ代の半額を返金してもらえる。
- ④ ケーキの写真の部分は食べられないので、食べないように注意しなければならない。
- ・inedible「食べられない」

価格表の下にある最初の注意書きの第2文に Cancellation is free if you notify us five days in advance, but thereafter you will only receive a 50% refund.「キャンセルは、5日前までにお知らせいただければ無料ですが、それ以降は、価格の50パーセントのみのご返金となります」とあるので、正解は③。①は、ケーキ代は注文時に、配達料金は配達担当者に直接払うことになるので、不正解。②は、価格表の下にある注意書きの3番目に Our shop uses peanuts, almonds and other nut products on a daily basis. If you have a severe allergic reaction to nut products, then we do not recommend consuming any of our products.「当店では日常的に、ピーナッツやアーモンドなどのナッツ製品を使用しています。ナッツ製品に強いアレルギー反応がある方には、当店のいかなる製品もお召し上がりになることをお勧めいたしません」とあるので、不正解。④は、第1段落第2、3文 At our cake shop, we can take your photo and scan it and create an edible photo cake in color. The ink is made from food coloring.「当店では、あなたの写真をお借りし、それをスキャナーで読み取って、食べることのできるカラーの写真入りケーキをお作りいたします。インクは食品着色料でできています」より、不正解。

### 第5問 ヴィジュアル読解問題

【全訳】

ジョーゼフ・コンウェイ、退職者、75歳、男性

★★☆☆☆

「象使いプロジェクト」はタイ湾のパタヤからおよそ20キロ南にあります。私は、7日間体験コースに参加しましたが、それは、タイの飼いやられた象と、象の調教をする象使いとの関係についての基本的な理解を得るための、他では味わえない機会を与えてくれるコースです。象使いたちは、象とともに

に、海のそばの静かなキャンプに住んでいます。このプロジェクトに参加する人々は象の乗り方だけでなく、頭が良くて気の優しいこの巨大な動物の世話の仕方も学びます。また、象使いの伝統的な暮らしについて学んだり、地域のさまざまな活動に参加したりする機会もあります。もし体調が万全であれば、この滞在は楽しいでしょう。

あいにく、私は、この旅行に参加している他の人たちよりもずっと歳を取っているのですが、彼らについて行くことができませんでした。最も大変だったことは、象の餌として草やパイナップルの葉を刈り取ることでした。若い人たちはそれを楽しんでいました。彼らはビーチでパレーボールもしましたが、私は朝の作業の後で、疲れていたため、彼らに加わりませんでした。私は彼らの若さが本当に羨ましいと思いました。実際、この旅行での最も思い出深いことと言えば、ただ象を見ながらハンモックの中でリラクセスできたことです。私のような年齢の人間にはちょっと怖かったので、一度しか象には乗りませんでした。

村での最後の晩をグループの他の人たちや象使いとその家族と一緒に過ごした経験が、私には特に楽しかったです。彼らは心から私を歓迎してくれました。

リンダ・ウォレス、銀行員、32歳、女性

★★★★★

このプロジェクトに参加した人は誰でも、滞在中ずっと1頭の象とその象使いと一緒に働き、親密な関係を築きます。このプロジェクトのメンバーとして、参加者は段階的な訓練スケジュールに従うことになります。キャンプ周辺の地域を自分の象と歩き、今まで知らなかった命令や技術を身につけながら、自信をつけていき、象があなたの言うことをよりよく聞くようになっていくのです。

スケジュールはとてもきつかったのですが、この特別な体験に私は満足しました。というのも象とのコミュニケーションの取り方を学ぶことができ、タイ文化について多くのことを学んだからです。

はじめて象使いが私に草やパイナップルの葉を刈り取るように言った時、象と親しくなるためにこのプロジェクトに参加したのに、どうしてそんなことをしなければならないのかと思いました。象に餌を



与えることで象が安心するようになるのだとすぐに分かったので、象の餌を準備しました。私は銀行に勤めていてあまり運動をしないので、これは最もつらい仕事の1つでした。それは、思ったよりもずっと面白かったのですが、年配の男性が暑さの中で作業しているのを見たときは、少し心配になりました。

象に餌を与えてから、私は象使いに自分の象の乗り方を教えてもらいましたが、彼は親切でよく助けてくれました。象の背に乗って世界を見るのは、なんですばらしいのでしょうか！ 滞在中、私は毎日象に乗りましたが、年配の男性は自分の象に乗りたくないようでした。たぶん、落ちてケガをするのを心配していたのでしょうか。

昼食後、ハンモックでくつろげる時間がたっぷりありましたので、たいてい私は少しの間それを楽しみました。自国の日常生活ではする機会が決してない他の多くのこともしたいと思いました。近くのビーチではいくつかの活動があったので、毎日自分の仕事を終えた後、バレーボールをしにそこに行きました。

私は最も充実した休暇を過ごしました！ 象のそばで象と一緒に作業をすることは私の生涯の夢でしたし、私の期待を裏切りませんでした。もっと長く滞在できたらよかったのに、と思います。多分来年は…！

#### 【語句・構文解説】

##### ◆ジョーゼフ・コンウェイ◆

- ・retired「退職者」
- ・male「男性」
- ・mahout「象使い」
- ・be located ~「～にある／位置する」

【例】 The post office **is located** at 110 Carter Street.

郵便局はカーター通り 110 番地にあります。

- ・Pattaya「パタヤ」タイのチョンブリー県の西海岸にあり、観光で有名なエリア。
- ・the Gulf of Thailand「タイ湾」
- ・participate in A「Aに参加する」
- ・experience「経験」
- ・be supposed to-不定詞「～することになっている」

【例】 We **are not supposed to** run along the

corridor.

廊下を走ってはいけないことになっています。

- ・offer「提供する」
- ・unique「他では味わえない／独特の」
- ・opportunity to-不定詞「～する機会」
- ・gain「得る」
- ・basic「基本的な」
- ・Thai「タイの」
- ・domestic「飼いならされた」
- ・relationship「関係」
- ・train「調教する／訓練する」
- ・peaceful「静かな／平和的な」
- ・not only A but also B「AだけでなくBも」Aが how to ... elephant, Bが how to ... giants.
- ・care for A「Aの世話をする」
- ・intelligent「頭の良い／知能の高い」
- ・gentle「優しい」
- ・giant「巨大な動物」ここでは、象のこと。
- ・traditional「伝統的な」
- ・join in A「Aに加わる」
- ・various「さまざまな」
- ・communal「地域の／共同社会の」
- ・activity「活動」
- ・be in ~ shape「体の調子が～だ」shapeは「状態／調子」の意味。

【例】 Today I **am in bad shape**.

今日は、体の調が悪い。

- ・physical「肉体的な」
- ・unfortunately「あいにく(なことに)」
- ・participant「参加者」
- ・keep up with A「Aに遅れずについて行く」

【例】 I had to work hard to **keep up with** the other students.

私は他の学生に遅れずについて行くために一生懸命勉強しなければならなかった。

- ・grass「草」
- ・leaves<leaf「葉」の複数形。
- ・be envious of A「Aを羨ましく思う」

【例】 Tom **was envious of** my success.

トムは私の成功を羨ましく思っていた。

- ・youth「若さ」
- ・in fact「実際に(に)」
- ・memorable「思い出深い」
- ・relax「くつろぐ」
- ・hammock「ハンモック」
- ・scary「怖い」

- ・ a person my age 「私と同年齢の人」
- ・ especially 「特に」
- ・ welcome 「喜んで迎える」
- ・ with open arms 「心から／熱烈に」

[例] The members of the club welcomed newcomers **with open arms**.

そのクラブの会員たちは新入会員を心から歓迎した。

◆リンダ・ウォレス◆

- ・ bank clerk 「銀行員」
- ・ female 「女性」
- ・ take part in A 「Aに参加する」

[例] You can **take part in** the conference through the net.

ネット経由でその会議に出席できます。

- ・ closely 「接近して／密接に」
- ・ throughout A 「Aを通して」
- ・ form 「形成する」
- ・ close 「親密な」
- ・ follow 「従う」
- ・ progressive 「段階的な」
- ・ training 「訓練」
- ・ schedule 「スケジュール／計画」
- ・ the area surrounding the camp 「キャンプ周辺の地域」 surrounding the camp は the area を修飾する現在分詞句。
- ・ surround 「囲む」
- ・ command 「命令」
- ・ confidence 「自信」
- ・ become responsive to A 「Aに答えるようになる／反応するようになる」
- ・ tight 「きつい」
- ・ be satisfied with A 「Aに満足している」

[例] I **am satisfied with** my present job.

私は今の仕事に満足しています。

- ・ communicate with A 「Aとコミュニケーションをとる／意思伝達を行う」
- ・ culture 「文化」
- ・ tell A to-不定詞 「Aに～するように言う」
- ・ wonder+疑問詞節 「～かと思う」
- ・ make friends with A 「Aと親しくなる」
- ・ realize that SV... 「…だと分かる」
- ・ feed 「餌を与える」
- ・ make A+動詞の原形 「Aに～させる」
- ・ at ease 「安心した／くつろいでた」

[例] Tom was **at ease** among his friends.

トムは友人の中でくつろいでいた。

- ・ prepare 「準備する」
- ・ exercise 「運動」
- ・ be worried about A 「Aを心配する」
- ・ see A ~ing 「Aが～しているのを見る」
- ・ How wonderful it was to see the world from the back of an elephant! 「象の背に乗って世界を見るのは、なんてすばらしいのでしょうか！」感嘆文。  
itは形式主語で to see ... elephant を指す。
- ・ ride his 「彼の象に乗る」 his は所有代名詞で、his elephant のこと。
- ・ fall off 「落ちる」
- ・ get hurt 「ケガをする」
- ・ plenty of A 「たくさんのA」
- ・ the chance to-不定詞 「～する機会」
- ・ daily life 「日常生活」
- ・ nearby 「近くの」
- ・ task 「仕事」
- ・ rewarding 「充実した／ためになる」
- ・ life-long 「生涯の／一生の」
- ・ fall short of A 「Aに達しない」

[例] His grade **falls short of** the standards.

彼の成績は基準に達していない。

- ・ expectation 「期待」
- ・ I only wish I could have stayed longer. 「もっと長く滞在できたらよかったのに、と思います」  
wish+仮定法過去完了で、「過去の実現しなかった事柄への願望」を表す。

【設問別解説】

問1 ジョーゼフは自分のことを [42] 人として述べている。

- ① 象に乗ることを最も楽しんだ
- ② 体があまり丈夫でない
- ③ 年のわりにはまだ驚くほど健康である
- ④ この滞在にすっかり満足した

ジョーゼフは「退職している75歳の男性」と自分のことを紹介している。また第1段落最終文、If you are in good physical shape, you will enjoy your stay. 「もし体調が万全であれば、この滞在は楽しいでしょう」とあり、第2段落第1文 Unfortunately, I was much older than the other participants, so I couldn't keep up with them. 「あいにく、私は、この旅行に参加している他の人たちよりもずっと歳を取っているの、彼らについて行くことができませんでした」とある。ジョーゼフは老齢で体力的に大変であったことが分かるので、②が正解。なお、①は、第2段落最終文 I rode my



elephant only once because it was a little scary for a person my age.「私のような年齢の人間にはちょっと怖かったので、一度しか象には乗りませんでした」より、不正解。④は評価の★の数が5つ中2つであることから、不正解。

問2 プロジェクトに滞在した後、リンダは [43] と  
思った。

- ① 象に乗ることはとても危険だ
- ② 来年も同じ体験を繰り返すかもしれない
- ③ 象と一緒にいるチャンスはもう決まっていだろう
- ④ この滞在は期待はずれだった  
・meet A's expectations「Aの期待を満たす」

リンダの最終段落第3・4文に、I only wish I could have stayed longer. Maybe next year...!「もっと長く滞在できたらよかったのに、と思います。多分来年は…!」とあるので、②が正解。なお、③はこれと反対の内容なので不正解。④は、最終段落第2文に、Being close to and working with elephants was a life-long dream of mine and did not fall short of my expectations.「象のそばで象と一緒に作業をすることは私の生涯の夢でしたし、私の期待を裏切りませんでした」とあるので、不正解。

問3 リンダとジョーゼフは [44] という点で意見が  
同じだった。

- ① 草やパイナップルの葉を刈り取ることは必要ではない
- ② 象に乗ることは楽しくてワクワクする
- ③ 象使いは助けになり友好的だ
- ④ 彼らは多くの目新しいことをしたい

ジョーゼフの第3段落第1・2文に I especially enjoyed the experience of spending the last night in the village with the other people in the group, the mahouts and their families. They welcomed me with open arms.「村での最後の晩をグループの他の人たちや象使いとその家族と一緒に過ごした経験が、私には特に楽しかったです。彼らは心から私を歓迎してくれました」、リンダの第4段落第1文に、After feeding the elephants, I was taught by the mahout, who was kind and very helpful, how to ride my elephant.「象に餌を与えてから、私は象使いに自分の象の乗り方を教えてもらいましたが、彼は親切でよく助けてくれました」とあるので、③が正解。

問4 このレビューによると、この経験を [45] もの  
として、最もよく説明することができる。

- ① 参加者に体力の限界にまで行かせる

- ② 忍耐力を限界まで働かせる
- ③ 象と象使いの強い絆について教える
- ④ 地元の人々に国際言語を教える

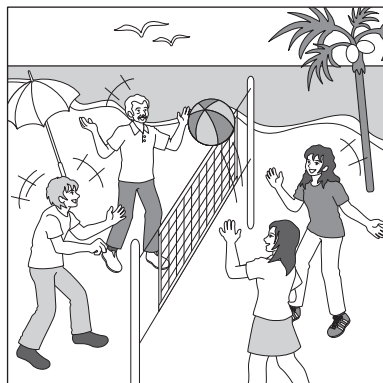
この経験についての説明は、ジョーゼフの第1段落第2文 I participated in a 7-day experience which is supposed to offer a unique opportunity to gain a basic understanding of Thai domestic elephants and their relationships with their mahouts, who train them.「私は、7日間体験コースに参加しましたが、それは、タイの飼いなされた象と、象の調教をする象使いとの関係についての基本的な理解を得るための、他では味わえない機会を与えてくれるコースです」とあり、またリンダの第1段落第1文に Anyone taking part in the project will work closely with one elephant and her mahout throughout their stay, forming a close relationship.「このプロジェクトに参加する人は誰でも、滞在中ずっと1頭の象とその象使いと一緒に働き、親密な関係を築きます」とあるので、③が正解。

問5 この滞在で彼らの2人ともが経験した場面を示  
していないのは、次のうちのどれか? [46]

ジョーゼフとリンダの2人がともに経験したことは

- 1. 象に乗ること
- 2. 象の餌になる草やパイナップルの葉を刈ること
- 3. ハンモックでリラックスすること

である。ビーチへ行きバレーボールをしたのはリンダだけで、ジョーゼフがそれをしたとは述べられていない。したがって、④が正解。



## 第6問 長文読解問題

【出典】 Reading for the Real World (コンパスパブリッシング)

## 【全記】

### オフィスから離れたオフィス

- (1) 多くの大人にとって、典型的な仕事の1日は次のようなものかもしれない。目覚まし時計が朝6時に鳴る。高価な仕事着を身に着けて、素早く朝食を食べ、会社への長くてストレスの多い通勤を始める。同僚の雑談と社内のかげ引きの中で、自分の仕事を片付けようとして、机に向かって1日を過ごす。そして、通勤の人ごみの中を家へと向かう。くつろぐ時間は数時間しかなく、次の日に起きてもう一度同じ1日を繰り返さなければならない。こうした人々にとって、テレコミュティングは会社での仕事から生じる日々のストレスと欲求不満に対する答えとみなしてもよいかもしれない。
- (2) テレコミュティングは、テレワーキングとか在宅勤務としても知られているが、遠距離通信を使って、会社のオフィスとは別のところで、一番多いのは自宅のオフィスで働くことを指す言葉だ。フルタイムでテレコミュートする人はほとんどいないが、少なくとも時間の一部を在宅勤務することを従業員に許可する会社がどんどん増えている。ウォールストリート・ジャーナルによると、少なくとも月に1日テレコミュートする人の数は、世界中で1998年のおよそ2,200万人から2007年のおよそ8,250万人に増えていて、この数は今世紀の半ばまでには1億人を越すと予想されている。
- (3) 経営者は、こうした在宅勤務に対する高まる需要に、受け入れたり抵抗したりして対応している。一方では、経営者はテレコミュティングの機会を提供することはコスト削減の1つの方法だと理解している。テレコミューターに適切な機器を与えることによって、最初にコストはかかるけれども、長期的には節約になる。産業技術支援公社(ITAC)によれば、平均的なオフィススペースは、労働者1人あたり1年でおおよそ1万ドルの費用が経営者にかかる。
- (4) その上、テレコミュティングの機会があれば、従業員が風邪のような軽い病気にかかった時や、(たとえば雪や凍結のような)通勤を困難にしたり、不可能にしたりする交通上の問題が起きた時でも働くことができ、生産性が向上する。従業員の満足度は高まり、ストレスも少なくなる。そのため、より一層働くようになり、経営者への忠誠心も高まる。経営者はまたテレコミュティングを、最も優秀な人材を惹きつける、強力な採用

の手段とみなしている。一流企業の最高財務責任者への調査において、ロバート・ハーフ・テクノロジー社はテレコミュティングを、就職するかどうか決める際、給料に次ぐ2番目の条件として挙げた。

- (5) 一方で、経営者はテレコミュティングがいくつかのリスクを引き起こすという事実も分かっている。第一に、会社の機密情報が会社から持ち出されるようになれば、機密と安全面の懸念を引き起こすおそれがある。民主主義と技術のためのセンターが行った調査では、会社はテレコミュティングにおける安全対策を十分に行っていないことが多いことが分かった。その上、テレコミューターは、会社のデータを保護するための適切な訓練を必ずしも受けてはいない。
- (6) もう1つのリスクはテレコミューターの仕事のやり方に関するものだ。テレコミュティングで成功するには、自立していて、自発的で、規律正しくなければならない。常に管理とフィードバックが必要なテレコミューターは成功しない。これは長い目で見れば会社の損失になる。また、オフィスで仕事をする人よりもテレコミューターを管理する方が難しい。例えば、テレコミューターの管理者は「細かい点まで管理する人」にはなれない。管理者は責任を他の人に預けるのをいとわない人でなければならない。実際、会社はテレコミューターの管理について管理職を教育する必要があると感じている。
- (7) 働き手がテレコミュティングを求め続けているため、それがビジネス界の標準になるだろうと専門家は予測している。ハイテク機器を使うのが上手な新しい世代が、仕事のやり方について異なった考え方を持って、労働力に参入しつつある。この世代はテレコミュティングの機会を受け入れる気持ちは十分だし、それを期待させている。その上、世界人口は増えているが、道路や公共交通機関の収容力は必ずしもそれに追いついているとは言えない。このことは、職場への通勤をより困難で、いらいらさせるものにするだろう。最後に、共働きの家族が増えているため、家庭生活と仕事を両立させるために、仕事の柔軟性への必要性が高まる。テレコミュティングに向かう傾向は明らかだが、企業の体質や個々の働き手に及ぼす長期的な影響は、いまだに分からない。

【訳と語句・構文解説】

◆第1段落◆

- (1) For many adults, a typical work day might be as follows: The alarm goes off at 6:00 a.m. You put on expensive work clothes, eat breakfast quickly, and start off on your long and stressful commute to the office. You spend your day at your desk, attempting to complete your tasks amid co-worker chitchat and office politics. Then, you make your way home through the commuter crowds. You have just enough time for a few hours of relaxation before you have to get up and repeat the process all over again the next day. For these people, telecommuting might be seen as the answer to the daily stress and frustration of office jobs.

- (1) 多くの大人にとって、典型的な仕事の1日は次のようなものかもしれない。目覚まし時計が朝6時に鳴る。高価な仕事着を身に着けて、素早く朝食を食べ、会社への長くてストレスの多い通勤を始める。同僚の雑談と社内のかけ引きの中で、自分の仕事を片付けようとして、机に向かって1日を過ごす。そして、通勤の人ごみの中を家へと向かう。くつろぐ時間は数時間しかなく、次の日に起きてもう一度同じ1日を繰り返さなければならない。こうした人々にとって、テレコミュティングは会社での仕事から生じる日々のストレスと欲求不満に対する答えとみなしてもよいかもしれない。

- ・ typical 「典型的な」
- ・ work day 「仕事日／平日」
- ・ as follows 「次のような」
- ・ alarm 「目覚まし時計」 (= alarm clock)
- ・ go off 「(時計・警報などが)鳴る」
- ・ put on A / put A on 「A(服など)を着る」
- ・ clothes 「服」
- ・ start off on A 「Aに出かける」
- ・ stressful 「ストレスの多い」
- ・ commute 「通勤／通学」
- ・ spend A ~ing 「A(時間)を～して過ごす」

[例] I **spent** most of the weekend **cleaning up** the house.

週末はほとんど家の掃除をして過ごした。

- ・ attempt to-不定詞 「～しようとする」
- ・ complete 「仕上げる／完成させる」
- ・ task 「仕事」

- ・ amid A 「Aの(まっただ)中で」
- ・ co-worker 「同僚」
- ・ chitchat 「雑談／うわさ話」
- ・ politics 「(職場などでの)かけ引き」
- ・ make *one's* way home 「家へ向かう」
- ・ crowd 「人ごみ／群衆」
- ・ relaxation 「くつろぎ」
- ・ all over again 「もう一度」
- ・ telecommuting 「テレコミュティング／在宅勤務をすること」 インターネットや電話回線を利用して、自宅などで仕事をする。こと。
- ・ see A as B 「AをBだとみなす」 受動態になっている。
- ・ answer to A 「Aに対する答え」
- ・ daily 「毎日の」
- ・ frustration 「欲求不満」

◆第2段落◆

- (2) Telecommuting, also known as teleworking or working from home, is a term that refers to the use of telecommunications to work away from the company's office, most often at a home office. Few people telecommute full time, but a growing number of companies are allowing their employees to work from home at least part of the time. *The Wall Street Journal* reports that the number of people worldwide who telecommute at least one day per month has risen from about 22 million in 1998 to about 82.5 million in 2007, and this number is expected to surpass 100 million by the middle of this century.

- (2) テレコミュティングは、テレワーキングとか在宅勤務としても知られているが、遠距離通信を使って、会社のオフィスとは別のところで、一番多いのは自宅のオフィスで働くことを指す言葉だ。フルタイムでテレコミュートする人はほとんどいないが、少なくとも時間の一部を在宅勤務することを従業員に許可する会社がどんどん増えている。ウォールストリート・ジャーナルによると、少なくとも月に1日テレコミュートする人の数は、世界中で1998年のおよそ2,200万人から2007年のおよそ8,250万人に増えていて、この数は今世紀の半ばまでには1億人を越すと予想されている。

- ・ known as A 「Aとして知られていて」
- ・ term 「言葉／用語」

・ refer to A 「A を指す／表す」

[例] These figures **refer to** crimes committed last year.

これらの数字は、昨年起きた犯罪を表しています。

・ telecommunication 「(電話・ラジオ・テレビ・有線・衛星による)遠距離通信」

・ full time 「フルタイムで／常勤で」

・ allow A to-不定詞 「A が～することを許可する」

[例] Some schools **allow** female students to **wear** a white blouse.

いくつかの学校は、女生徒が白いブラウスを着ることを認めている。

・ employee 「従業員」

・ at least 「少なくとも」

・ *the Wall Street Journal* 「ウォールストリート・ジャーナル」ダウ・ジョーンズ社より発行されている米国の経済専門日刊紙。

・ report that SV ... 「…だと報告する」

・ worldwide 「世界中の」

・ one day per month 「月に1日」 per month は「一月(ひとつき)につき」の意味。

・ rise 「増える」

・ million 「百万」 22 million は「2,200万」の意味。

・ be expected to-不定詞 「～すると予想されている」

・ surpass 「越す」

・ century 「世紀」

### ◆第3段落◆

(3) Employers have met this growing demand to work from home with both acceptance and resistance. On the one hand, employers understand that offering telecommuting opportunities is a way to cut costs. Despite the initial cost resulting from setting a telecommuter up with the appropriate technology, there are long-term savings. The average office space costs an employer about ten thousand dollars per year for each worker, according to the Industrial and Technology Assistance Corporation (ITAC).

(3) 経営者は、こうした在宅勤務に対する高まる需要に、受け入れたり抵抗したりして対応している。一方では、経営者はテレコミュティングの機会を提供することはコスト削減の1つの方法だと理解している。テレコミューターに適切な機器

を与えることによって、最初にコストはかかるけれども、長期的には節約になる。産業技術支援公社(ITAC)によれば、平均的なオフィススペースは、労働者1人あたり1年でおおよそ1万ドルの費用が経営者にかかる。

・ employer 「経営者／雇用者」

・ meet the demand 「需要に対応する／応える」

・ acceptance 「受容」

・ resistance 「抵抗」

・ on the one hand 「一方では」

・ offer 「提供する」

・ opportunity 「機会」

・ cut 「削減する」

・ despite A 「A にもかかわらず」

[例] **Despite** all our efforts, the event was a failure.

我々の懸命の努力にもかかわらず、イベントは失敗に終わった。

・ the initial cost resulting from ... 「…することから生じる最初のコスト」 resulting from ... appropriate technology は the initial cost を修飾する現在分詞句。

initial 「最初の」

result from A 「A から生じる」

[例] The flood **resulted from** heavy rains.

洪水は豪雨の結果、起きた。

・ set A up with B 「A に B を身に付けさせる／備えさせる」

・ telecommuter 「テレコミューター」

telecommuting で働く人。

・ appropriate 「適切な」

・ long-term 「長期的な」

・ saving 「節約」

・ average 「平均的な」

・ cost A B 「A(人など)に B(お金)がかかる」

・ ten thousand dollars 「1万ドル」

・ according to A 「A によれば」

・ the Industrial and Technology Assistance Corporation 「産業技術支援公社」

### ◆第4段落◆

(4) In addition, offering telecommuting opportunities means that employees can still work when they have minor illnesses like colds or when there are transport problems (such as snow or ice) that might make commuting difficult or impossible, and it increases

productivity. Workers are happier and less stressed. Therefore, they work harder and are more loyal to their employers. Employers also see telecommuting as a powerful recruitment tool to attract top talent. In a survey of top company CFOs, Robert Half Technology cited telecommuting as second only to salary when someone is deciding whether to take a job.

- (4) その上、テレコミュティングの機会があれば、従業員が風邪のような軽い病気にかかった時や、(たとえば雪や凍結のような)通勤を困難にしたり、不可能にしたりする交通上の問題が起きた時でも働くことができ、生産性が向上する。従業員の満足度は高まりストレスも少なくなる。そのため、より一層働くようになり、経営者への忠誠心も高まる。経営者はまたテレコミュティングを、最も優秀な人材を惹きつける、強力な採用の手段とみなしている。一流企業の最高財務責任者への調査において、ロバート・ハーフ・テクノロジー社はテレコミュティングを、就職するかどうか決める際、給料に次ぐ2番目の条件として挙げた。

- ・ in addition 「その上」
- ・ minor 「軽い／重大でない」
- ・ illness 「病気」
- ・ like A 「A のような」
- ・ A such B 「たとえば B のような A」
- ・ make A+形容詞 「A を～にする」 A は commuting, 形容詞は difficult or impossible。
- ・ increase 「高める／増やす」
- ・ productivity 「生産性」
- ・ stressed 「ストレスを受けた」
- ・ therefore 「そのため／したがって」
- ・ be loyal to A 「A に対して忠誠心のある」
- ・ powerful 「強力な」
- ・ recruitment 「採用」
- ・ tool 「手段」
- ・ attract 「惹きつける」
- ・ talent 「人材／才能のある人」
- ・ survey 「調査」
- ・ CFO 「最高財務責任者」 (=Chief Financial Officer)
- ・ cite A as B 「A を B として挙げる」
- ・ second only to A 「A に次いで2番目である」

[例] Tom's skill at badminton is **second only to** his coach.

トムのバドミントンの技術は、コーチに次ぐものだ。

- ・ whether to-不定詞 「～すべきかどうか」
- ・ take a job 「就職する」

#### ◆第5段落◆

(5) On the other hand, employers are aware of the fact that telecommuting poses some risks. First of all, allowing confidential company information to leave the office can pose privacy and security concerns. A study done by the Center for Democracy and Technology showed that companies often do not fully carry out telecommuting security policies. In addition, telecommuters are not always properly trained in protecting company data.

(5) 一方で、経営者はテレコミュティングがいくつかのリスクを引き起こすという事実も分かっている。第一に、会社の機密情報が会社から持ち出されるようになれば、機密と安全面の懸念を引き起こすおそれがある。民主主義と技術のためのセンターが行った調査では、会社はテレコミュティングにおける安全対策を十分に行っていないことが多いことが分かった。その上、テレコミューターは、会社のデータを保護するための適切な訓練を必ずしも受けてはいない。

- ・ be aware of A 「A を分かっている」
- ・ the fact that SV ... 「…という事実」
- ・ pose 「引き起こす」
- ・ first of all 「第一に」
- ・ confidential 「機密の」
- ・ privacy 「機密／プライバシー」
- ・ security 「安全」
- ・ concern 「懸念／不安」
- ・ a study done by ～ 「～によって行われた調査」  
done 以下は a study を修飾する過去分詞句。
- ・ the Center for Democracy and Technology 「民主主義と技術のためのセンター」
- ・ carry out A / carry A out 「A を実行する」

[例] There are not enough people to **carry out** the research.

調査を実施するのに十分な人手がない。

- ・ policy 「対策」
- ・ not always ... 「必ずしも…とは限らない」 部分否定の表現。
- ・ properly 「ちゃんと／適切に」
- ・ train 「訓練する」



- ・ protect 「保護する」

#### ◆第6段落◆

(6) Another risk has to do with the work style of the telecommuter. A successful telecommuter has to be independent, self-motivated, and disciplined. A telecommuter who needs constant supervision and feedback will not be successful. This will cost the company in the long run. Also, it is more difficult to manage a telecommuter than someone who works at the office. A manager of telecommuters cannot, for instance, be a “micro-manager.” The manager must be willing to pass on responsibility. In fact, companies are finding it necessary to train their managers in managing telecommuters.

(6) もう1つのリスクはテレコミューターの仕事のやり方に関するものだ。テレコミュティングで成功するには、自立していて、自発的で、規律正しくなければならない。常に管理とフィードバックが必要なテレコミューターは成功しない。これは長い目で見れば会社の損失になる。また、オフィスで仕事をする人よりもテレコミューターを管理する方が難しい。例えば、テレコミューターの管理者は「細かい点まで管理する人」にはなれない。管理者は責任を他の人に預けるのをいとわない人でなければならない。実際、会社はテレコミューターの管理について、管理職を教育する必要があると感じている。

- ・ have to do with A 「A に関係がある」

[例] His research **has to do with** psychology.  
彼の研究は心理学と関係がある。

- ・ style 「やり方」
- ・ successful 「成功する」
- ・ independent 「自立した／独立した」
- ・ self-motivated 「自発的な」
- ・ disciplined 「規律正しい」
- ・ constant 「継続的な／絶え間ない」
- ・ supervision 「管理／監督」
- ・ feedback 「フィードバック」ここでは、社員の仕事に対して管理者が指摘や批判などをするを指す。
- ・ in the long run 「長い目で見れば」

[例] All our hard work will be worth it **in the long run**.

長い目で見れば、今の苦労はすべて報われる

だろう。

- ・ manage 「管理する」
- ・ for instance 「例えば」
- ・ micro 「非常に小さい」 micro-manager とは「テレコミューターの仕事の細かい点まで管理する人」の意味。
- ・ be willing to-不定詞「～するのをいとわない／快く～する」
- ・ pass on A / pass A on 「A(責任など)を預ける／委ねる」

[例] These skills were then **passed on** to subsequent generations.

その後、これらの技術は後の世代に受け継がれた。

- ・ responsibility 「責任」
- ・ in fact 「実際」
- ・ find it + 形容詞 + to-不定詞「～するのは…だと思う／分かる」

#### ◆第7段落◆

(7) Experts predict that telecommuting will become a standard in the corporate world as workers continue to demand it. A new generation, skilled at using high-tech devices, is entering the workforce, with a different idea of how work can get done. This generation readily accepts, and even expects, telecommuting opportunities. In addition, the population worldwide is increasing, but the capacity of roads and public transportation does not necessarily keep up. This will make commuting to work more difficult and frustrating. Lastly, the growing number of two-income families increases the need for job flexibility in order to balance family life and work. The trend toward telecommuting is clear, but the long-term effects on corporate culture and the individual worker are still unknown.

(7) 働き手がテレコミュティングを求め続けているため、それがビジネス界の標準になるだろうと専門家は予測している。ハイテク機器を使うのが上手な新しい世代が、仕事のやり方について異なった考え方を持って、労働力に参入しつつある。この世代は、テレコミュティングの機会を受け入れる気持ちは十分だし、それを期待さえている。その上、世界人口は増えているが、道路

や公共交通機関の収容力は必ずしもそれに追いついているとは言えない。このことは、職場への通勤をより困難で、いらいらさせるものにするだろう。最後に、共働きの家族が増えているため、家庭生活と仕事を両立させるために、仕事の柔軟性への必要性が高まる。テレコミュティングに向かう傾向は明らかだが、企業の体質や個々の働き手に及ぼす長期的な影響は、いまだに分からない。

- ・ expert 「専門家」
- ・ predict 「予測する」
- ・ standard 「標準」
- ・ corporate 「企業(の)」
- ・ continue to-不定詞「～し続ける」
- ・ demand 「求める」
- ・ generation 「世代」
- ・ (be) skilled at A 「A に熟練した」

[例] Bob is skilled at repairing cars.

ボブは車を修理するのがうまい。

- ・ high-tech device 「ハイテク機器」
- ・ workforce 「労働人口／労働力」 enter the workforce は「仕事に就く」の意味。
- ・ how work can get done 「仕事がどのようになされるか」  
get+過去分詞「～される」
- ・ readily 「進んで」
- ・ accept 「受け入れる」
- ・ expect 「期待する／予期する」
- ・ capacity 「収容力」
- ・ public transportation 「公共交通機関」
- ・ not necessarily ... 「必ずしも…でない」
- ・ keep up 「遅れずについていく」
- ・ make A+形容詞「A を～にする」A は commuting to work で、形容詞は more difficult and frustrating。
- ・ frustrating 「いらいらさせる」
- ・ the growing number of A 「増えている A」
- ・ two-income 「共働きの」 income は「収入」の意味。
- ・ flexibility 「柔軟性」
- ・ balance 「両立する／バランスをとる」
- ・ trend toward A 「A に向かう傾向」
- ・ effect on A 「A への影響」
- ・ culture 「(特定の集団特有の)体質／行動様式」
- ・ individual 「個々の」
- ・ unknown 「知られていない」

## 【設問別解説】

A

問1 第1段落によると、典型的なサラリーマンは毎日 **47**。

- ① くつろぐための良い方法として同僚とのおしゃべりを楽しんでいる
  - ② 会社の通勤でストレスの多い時間を過ごしている
  - ③ テレコミュティングによって、会社の仕事のストレスと欲求不満を解消している
  - ④ ときには残業して、次の日まで会社に残ることもある
- ・ work overtime 「残業する」

第1段落第2文 You put on expensive work clothes, eat breakfast quickly, and start off on your long and stressful commute to the office. 「高価な仕事着を身に着けて、素早く朝食を食べ、会社への長くてストレスの多い通勤を始める」、および第4文 Then, you make your way home through the commuter crowds. 「そして、通勤の人ごみの中を家へと向かう」より、②が正解。なお、①については、第3文に You spend your day at your desk, attempting to complete your tasks amid co-worker chitchat and office politics. 「同僚の雑談と社内のかけ引きの中で、自分の仕事を片付けようとして、机に向かって1日を過ごす」とあるが、「楽しんでいる」という記述はないので、不可。

問2 第3、4段落によると、**48** ので、テレコミュティングは受け入れられている。

- ① 従業員が会社で以前より多くのスペースを占めることができる
- ② 従業員が適切な技術を得得するよう訓練するには、ほとんどお金がかからない
- ③ テレコミュティングは、就職するかどうかを決める際に、給料よりも重要な要因である
- ④ ストレスが少なくなること、従業員が経営者のために一生懸命働く気持ちになる

第4段落第2、3文に、テレコミュティングが受け入れられている理由として、Workers are happier and less stressed. Therefore, they work harder and are more loyal to their employers. 「従業員の満足度は高まり、ストレスも少なくなる。そのため、より一層働くようになり、経営者への忠誠心も高まる」と述べられているので、④が正解。なお、①は、第3段落最終文に The average office space costs an employer about ten thousand dollars per year for each worker, according to the

Industrial and Technology Assistance Corporation (ITAC).「産業技術支援公社(ITAC)によれば、平均的なオフィスのスペースは、労働者1人あたり1年でおよそ1万ドルが経営者にかかる」とあるが、「労働者が必要なオフィスのスペースが、以前より増えた」とは述べられていないので、不可。②は、第3段落第3文に Despite the initial cost resulting from setting a telecommuter up with the appropriate technology, there are long-term savings.「テレコミューターに適切な機器を与えることによって、最初にコストはかかるけれども、長期的には節約になる」とあり、「従業員にテレコミュートिंगに必要な技術を身につけさせるにはかなりお金がかかる」と考えられるので、不可。③は、第4段落最終文に In a survey of top company CFOs, Robert Half Technology cited telecommuting as second only to salary when someone is deciding whether to take a job.「一流企業の最高財務責任者への調査において、ロバート・ハーフ・テクノロジー社はテレコミュートिंगを、就職するかどうか決める際、給料に次ぐ2番目の条件として挙げた」とあるので、不可。

問3 第5, 6段落によると、テレコミュートिंगを採り入れる際の不利な点の1つは、**49** ということである。

- ① 従業員は秘密の情報を社内にだけ持っている
- ② 自己修練の欠けた従業員には向かない
- ③ たいていのテレコミューターは、会社のデータを扱うのに慣れている  
・be used to ~ing「～するのに慣れている」
- ④ テレコミューターに責任のある人はいない

テレコミュートिंगの不利な点としては、第6段落第2, 3文に A successful telecommuter has to be independent, self-motivated, and disciplined. A telecommuter who needs constant supervision and feedback will not be successful.「テレコミュートिंगで成功するには、自立していて、自発的で、規律正しくなければならない。常に管理とフィードバックが必要なテレコミューターは成功しない」と述べられているので、②が正解。

問4 第7段落では、**50** ため、テレコミュートिंगはビジネス界での標準になる可能性が高い、と暗に示している。

- ① 交通機関の技術が高まった結果、通勤がよりスムーズになる
- ② ビジネス界と労働者に及ぼす長期的な影響が明らかである

③ ますます多くの共働きの夫婦が家庭生活と仕事の両立を重視するようになっていく

④ 年長の世代がテレコミュートिंगを扱うのがきわめて簡単だと思っている

第7段落第6文 Lastly, the growing number of two-income families increases the need for job flexibility in order to balance family life and work.「最後に、共働きの家族が増えているため、家庭生活と仕事を両立させるために、仕事の柔軟性への必要性が高まる」より、③が正解。なお、①は、第4文に In addition, the population worldwide is increasing, but the capacity of roads and public transportation does not necessarily keep up.「その上、世界人口は増えているが、道路や公共交通機関の収容力は必ずしもそれに追いついていない」とあるし、「通勤がスムーズになること」はテレコミュートिंगが普及する要因とはならないので、不可。②は、最終文 The trend toward telecommuting is clear, but the long-term effects on corporate culture and the individual worker are still unknown.「テレコミュートिंगに向かう傾向は明らかだが、企業の体質や個々の働き手に及ぼす長期的な影響は、いまだに分からない」より、不可。

問5 本文の主旨は、**51** ということである。

① 不利な点が出てくる可能性があるため、テレコミュートिंगを採用しようとする会社はごくわずかであろう

② いくつか不利な点はあるものの、ますます多くのサラリーマンが在宅勤務をするようになっていく

③ サラリーマンにとって便利になるように、道路と公共交通機関は改善されつつある

④ サラリーマンが会社まで長時間通勤した時代は終わった

第1段落の導入に続いて第2段落では「テレコミュートの増加」について述べられている。第3・第4段落で「その利点」、第5・第6段落で「その不利な点」について言及した後に、第7段落では「テレコミュートが今後さらに普及する」ことが述べられているので、②が正解。①、③と④は第7段落の内容に不一致。



## B

段落	内容
(1)	サラリーマンの典型的な仕事の1日
(2)	<b>52</b> ㊸ 増加するテレコミュートイング
(3)	テレコミュートイングのいくつかの利点
(4)	<b>53</b> ㊶ テレコミュートイングのさらなる利点
(5)	<b>54</b> ㊷ テレコミュートイングの危険な点
(6)	テレコミュートイングの他の不利な点
(7)	<b>55</b> ㊹ テレコミュートイングの未来

第2段落には、「従業員にテレコミュートイングを許可する会社が増加していること」が述べられているので、**52** は㊸が正解。第4段落には、第3段落に続いて、「生産性の向上などの、テレコミュートイングの他の利点」が述べられているので、**53** は㊶が正解。第5段落には、「会社の機密情報が持ち出されるなどの、テレコミュートイングの危険性」について述べられているので、**54** は㊷が正解。第7段落には、「テレコミュートイングが将来ビジネス界の標準になるという予想など、テレコミュートイングの未来」について述べられているので、**55** は㊹が正解。

# リスニング

## 【解答・採点基準】

(50点満点)

問題番号	設問	解番 番号	正解	配点	自己採点	
第1問	問1	①	②	2		
	問2	②	①	2		
	問3	③	①	2		
	問4	④	③	2		
	問5	⑤	④	2		
	問6	⑥	②	2		
第1問 自己採点小計				(12)		
第2問	問7	⑦	②	2		
	問8	⑧	③	2		
	問9	⑨	②	2		
	問10	⑩	①	2		
	問11	⑪	③	2		
	問12	⑫	①	2		
	問13	⑬	②	2		
第2問 自己採点小計				(14)		
第3問	A	問14	⑭	④	2	
		問15	⑮	①	2	
		問16	⑯	④	2	
	B	問17	⑰	④	2	
		問18	⑱	②	2	
		問19	⑲	⑥	2	
第3問 自己採点小計				(12)		
第4問	A	問20	⑳	④	2	
		問21	㉑	③	2	
		問22	㉒	③	2	
	B	問23	㉓	①	2	
		問24	㉔	④	2	
		問25	㉕	③	2	
第4問 自己採点小計				(12)		
自己採点合計				(50)		

## 【解説】

※【読み上げられた英文】および【訳】で太字になって  
いる部分は、聴き取りの上で重要な部分を示してい  
ます。

### 第1問 対話文ヴィジュアル選択問題

問1 ①

【読み上げられた英文】

M: May I help you?

W: Yes. I'd like half a dozen roses.

M: What color would you like?

W: I'll take these pink ones here. Please put a ribbon around them.

【対話と質問の訳】

男性：何かお探してでしょうか。

女性：はい。バラを6本いただきたいのですが。

男性：何色にいたしますか。

女性：ここにあるこのピンクのバラをいただきます。

リボンをつけてください。

質問：女性はどれを注文したか。

【ポイントと解説】

女性の最初の発話 I'd like half a dozen roses. 「バラを6本いただきたいのですが」と2回目の発話の Please put a ribbon around them. 「リボンをつけてください」から適切なイラストを選ぶ。

問2 ②

【読み上げられた英文】

M: Can I reserve a tennis court for tomorrow morning?

W: I'm sorry, but none are available. How about the day after?

M: The 30th? That's fine.

W: Please be here by nine.

【対話の訳】

男性：明日、午前のテニスコートを予約することはできますか。

女性：すみませんが、空いているコートはありません。明後日ではいかがですか。

男性：30日ですか。それで結構です。

女性：9時までここにおいでください。

【質問と選択肢の訳】

質問：彼らはいつ話しているか。

① 28日。 ② 29日。 ③ 30日。 ④ 31日。

【ポイントと解説】

明日のテニスコートの予約をしようとする男性に対し、女性が、明日はコートが空いていないと断っ

た上で、How about the day after? 「明後日ではいかがですか」と提案している。それに対する男性の応答にある The 30th? 「30日ですか」を聴き取り、二人が話している日にちを求める。

問3 3

【読み上げられた英文】

M: What do you think of these **tight shorts**?

W: **You would look silly in them!**

M: What about these jeans, then?

W: **I think this loose-fitting pair would be better.**

【対話と質問の訳】

男性：このびったりした短パンはどう思う？

女性：それを着たら、ばかみたいよ！

男性：それなら、このジーンズはどう？

女性：こっちのゆったりしているほうがいいと思うわ。

質問：女性はどのズボンを薦めているか。

【ポイントと解説】

男性から tight shorts 「びったりした短パン」に関する意見を求められた女性が、最初の発話で You would look silly in them! 「それを着たら、ばかみたいよ！」と述べ、次にジーンズに対しては、2回目の発話で I think this loose-fitting pair would be better. 「こっちのゆったりしているほうがいいと思うわ」と述べている。以上を聴き取り、女性が薦めているズボンのイラストを選ぶ。

問4 4

【読み上げられた英文】

M: Shall we meet half an hour before the movie **starts**?

W: **We need another thirty minutes.** I don't want to eat lunch so quickly.

M: **OK. Then let's meet at 12:30.**

W: All right.

【対話と質問の訳】

男性：映画が始まる30分前に待ち合わせようか。

女性：もう30分必要よ。そんなに急いでお昼を食べたくないもの。

男性：わかった。じゃあ、12時半に待ち合わせよう。

女性：いいわ。

質問：映画は何時に始まるか。

【ポイントと解説】

男性が最初の発話で映画が始まる30分前に待ち合わせることを提案すると、女性が We need another thirty minutes. 「もう30分必要よ」と答え、それに男性が同意している。よって、二人は映画が始まる1

時間前に待ち合わせることになる。その上で、男性が2回目の発話で Then let's meet at 12:30. 「じゃあ、12時半に待ち合わせよう」と言っているのを聴き取り、映画が始まる時刻を求める。

問5 5

【読み上げられた英文】

M: Where's Ellen? They all look the same.

W: **She's the one at the end, on her knee.**

M: **Does she have her hair in a ponytail?**

W: **Yes.**

【対話と質問の訳】

男性：エレンはどこ？ みんな同じに見えるなあ。

女性：端っこにいる子よ。片ひざについて。

男性：髪をポニーテールにしている子かい？

女性：そうよ。

質問：どの女の子がエレンか。

【ポイントと解説】

女性の最初の発話 She's the one at the end, on her knee. 「端っこにいる子よ。片ひざについて」からエレンの位置と姿勢を押さえ、後半のやり取りからわかるポニーテールの髪型と合わせて、どの女の子がエレンかを確定する。

問6 6

【読み上げられた英文】

M: I'd like **two tickets** for *Spiderman*.

W: Admission is **8 dollars each**.

M: I'm accompanied by **a woman**.

W: Oh, admission is **half-price for women** today.

【対話と質問の訳】

男性：『スパイダーマン』のチケット2枚ください。

女性：入場料は1枚8ドルです。

男性：ひとり女性なんですけど。

女性：あっ、今日は女性の入場料は半額です。

質問：男性は2人分に対し、いくら払うか。

【ポイントと解説】

男性が映画のチケットを2枚購入しようとしており、1枚は同伴の女性のためのものであることを理解する。そして女性の最初の発話 Admission is 8 dollars each. 「入場料は1枚8ドルです」と2回目の発話の admission is half-price for women today 「今日は女性の入場料は半額です」を聴き取り、男性が支払う2人分の入場料を求める。

## 第2問 対話文応答完成問題

問7 **7**

【読み上げられた英文】

W: What's that humming noise?

M: Oh, it's the refrigerator. It's old.

W: **You don't sound like it bothers you.**

【対話と選択肢の訳】

女性: あのブーンっていう音は何?

男性: ああ, 冷蔵庫さ。古いんだ。

女性: **あなた, この音が気にならないみたいね。**

- ① その音は聞こえないなあ。
- ② それには慣れているんだ。
- ③ ブザーを押したよ。
- ④ それはいい考えのようだね。

【ポイントと解説】

冒頭のやり取りから, 冷蔵庫が出している雑音について話していることを押さえ, 女性の2回目の発話 **You don't sound like it bothers you.** 「あなた, この音が気にならないみたいね」を聴き取り, 男性の応答として適当なものを選ぶ。

問8 **8**

【読み上げられた英文】

W: Can you help me bathe the cat, John?

M: Sure, Mom, after finishing my homework.

W: **I need to do it now** so that I can meet Kathy at ten o'clock.

【対話と選択肢の訳】

女性: ネコをお風呂に入れるのを手伝ってくれない, ジョン?

男性: わかったよ, 母さん。宿題が終わったらね。

女性: 10時にキャシーに会うことができるように, **今する必要があるの。**

- ① 宿題を手伝いたいんだ。
- ② ネコをお風呂に入れる前に僕が風呂に入るよ。
- ③ わかった。それならすぐに手伝うよ。
- ④ わかった。一緒にキャシーに会おうよ。

【ポイントと解説】

女性の最初の発話からネコをお風呂に入れる手伝いを男性に依頼している場面であることを押さえ, 女性が2回目の発話で **I need to do it now** 「今する必要があるの」とせき立てていることを聴き取り, それに対する適当な応答を選ぶ。

問9 **9**

【読み上げられた英文】

M: Can I help you? You seem to be lost.

W: Oh, thanks. I'm looking for the city hall.

M: **That's a long walk from here.**

【対話と選択肢の訳】

男性: お困りですか。道に迷っているようですが。

女性: ああ, ありがとうございます。市役所を探しているんです。

男性: **そこは, ここからだとかなり歩きますよ。**

- ① あなたのご迷惑でないといいのですが。
- ② そうですか。そこへ行くバスはありますか。
- ③ そうですか。道案内をありがとうございます。
- ④ それならあなたはそれを解決するべきです。

【ポイントと解説】

市役所を探している女性に, 男性が2回目の発話で **That's a long walk from here.** 「そこは, ここからだとかなり歩きますよ」と言っているのを聴き取り, 女性の応答として適当なものを選ぶ。

問10 **10**

【読み上げられた英文】

W: How was the apartment you went to see?

M: It's roomy with two bedrooms and a living room.

W: **Is it furnished with, say, a dining table?**

【対話と選択肢の訳】

女性: 見に行ったアパートはどうだったの?

男性: 広々としているよ。寝室が2部屋に, 居間があるんだ。

女性: **家具はついているの? 例えばダイニングテーブルとか。**

- ① いや, でも台所に冷蔵庫があるよ。
- ② いや, だから夕食の席を予約しないといけなかった。
- ③ うん, でもそれはすぐ終わるよ。
- ④ うん, だから部屋は日当たりがとてもいいんだ。

【ポイントと解説】

男性が見に行ったアパートについて話していることを理解した上で, 女性の2回目の発話 **Is it furnished with, say, a dining table?** 「家具はついているの? 例えばダイニングテーブルとか」に対する適当な応答を選ぶ。

問11 **11**

【読み上げられた英文】

W: Excuse me, sir, would you like to sit down in this priority seat?

M: No, it's OK.

W: **I'm getting off at the next station. Please do sit down.**

【対話と選択肢の訳】

女性: 失礼ですが, この優先席にお座りになりません

か。

男性：いいえ、結構です。

女性：次の駅で降りるんです。本当にどうぞお座り下さい。

- ① 実は、私は降りるべきではなかったんです。
- ② それより、私の席を譲りますよ。
- ③ それはご親切にどうも。
- ④ だから座るようにとあなたに言ったんですよ。

#### 【ポイントと解説】

女性が男性に席を譲ろうとしていることを理解し、女性の2回目の発話 I'm getting off at the next station. Please do sit down. 「次の駅で降りるんです。本当にどうぞお座り下さい」を聴き取り、これに対する応答として適当なものを選ぶ。

問12 12

#### 【読み上げられた英文】

W: What are your grades for this term going to be?

M: I wish you hadn't asked.

W: But you've been studying hard.

#### 【対話と選択肢の訳】

女性：今学期の成績はどうなりそうなの？

男性：聞かないでほしかったなあ。

女性：でも一生懸命勉強していたじゃない。

- ① うん、でも期末試験があまりよくできなかったんだ。
- ② うん、でも彼らとはあまり仲がよくないんだ。
- ③ 君は9年生だよ。
- ④ 君は真面目で頑張り屋だ。

#### 【ポイントと解説】

冒頭のやりとりから男性が今学期の成績に自信がないことを理解する。その上で女性の2回目の発話 But you've been studying hard. 「でも一生懸命勉強していたじゃない」を聴き取り、おそらく成績はよくないと思っている男性の応答として適当なものを選ぶ。

問13 13

#### 【読み上げられた英文】

M: Join us for a barbecue tomorrow.

W: Thanks. But tomorrow's my mother's birthday and we're giving her a party.

M: I see. Say "Happy Birthday" to her for me.

#### 【対話と選択肢の訳】

男性：明日のバーベキューにおいでよ。

女性：ありがとう。でも、明日は母の誕生日で、パーティーを開いてあげる予定なの。

男性：そうなんだ。僕からも「お誕生日おめでとう」っ

てお母さんに伝えて。

- ① ありがとう。でも、十分頂いたわ。
- ② ありがとう。そうするわ。
- ③ あなたが謝ることはないわ。
- ④ あなたはいつでも歓迎よ。

#### 【ポイントと解説】

女性が母親の誕生日のパーティーを予定していると聞いて、男性が2回目の発話で Say "Happy Birthday" to her for me. 「僕からも『お誕生日おめでとう』ってお母さんに伝えて」と言っているのを聴き取り、男性が女性に伝言を託していることを理解し、女性の応答として適当なものを選ぶ。

### 第3問 対話文問題

#### A 対話文内容選択問題

問14 14

#### 【読み上げられた英文】

M: Look at those shoes. Dad will like them.

W: He sure will. Let's give him a dark brown pair.

M: Yeah. They look nice. Oh, the tag says they are the last pair in stock.

W: That's why they are discounted.

M: Do you know what size he wears?

W: No. I thought you did.

#### 【対話の訳】

男性：あの靴、見て。お父さん、気に入るよ。

女性：確かにそうね。こげ茶のを贈りましょう。

男性：ああ。かっこいいね。あれっ、在庫の最後の1足って札に書いてあるよ。

女性：だから値引きされているのね。

男性：お父さんの靴のサイズ知ってる？

女性：いいえ。あなたが知っていると思ってたわ。

#### 【質問と選択肢の訳】

質問：彼らの問題は何かと思われるか。

- ① ほしい種類の靴が売り切れている。
- ② ほしい色が店にない。
- ③ ほしいサイズが店にない。
- ④ 父親の靴のサイズを知らない。

#### 【ポイントと解説】

二人が父親に贈る靴を選んでいる場面であることを押さえる。男性が3回目の発話で Do you know what size he wears? 「お父さんの靴のサイズ知ってる？」と言っており、それに対して女性が No. I thought you did. 「いいえ。あなたが知っていると思ってたわ」と言っているのを聴き取り、彼らの問題を理解する。

問15 **15**

【読み上げられた英文】

W: Joe, could you water the garden?

M: Not right now. Dad's using the hose to wash his car.

W: **Oh. Then, could you go to the grocery store and get some chicken for dinner?**

M: **Sure.**

W: And by the time you get back, your father should've finished washing his car.

M: Then I'll water the garden.

【対話の訳】

女性：ジョー，庭に水を撒いてくれる？

男性：今はできないよ。お父さんが車を洗うのにホースを使っているんだ。

女性：あら，じゃあ，食料雑貨店に行って夕食のチキンを買ってきてくれる？

男性：了解。

女性：そうすれば，戻るまでにはお父さんは洗車を終えているはずよ。

男性：そうしたら庭に水を撒くよ。

【質問と選択肢の訳】

質問：これからジョーは何をするか。

- ① 食料雑貨店に行く。
- ② 夕食を作るのを手伝う。
- ③ 父親の車を洗う。
- ④ 庭に水を撒く。

【ポイントと解説】

冒頭で女性が男性(ジョー)に庭の水撒きを頼むが，男性は父親が洗車でホースを使っているため水撒きができないと言っていることを押さえる。次に，女性の2回目の発話 Oh. Then, could you go to the grocery store and get some chicken for dinner? 「あら，じゃあ，食料雑貨店に行って夕食のチキンを買ってきてくれる？」と，それに対する男性の応答 Sure. 「了解」を聴き取り，ジョーがこれから何をするかを理解する。

問16 **16**

【読み上げられた英文】

W: There are lots of good restaurants on this street.

M: Where should we have dinner?

W: I chose last time. It's your turn today.

M: It's hard to choose the right restaurant for you.

**I can never remember if you eat fish but not meat, or vice versa.**

W: **Actually, I'm a vegetarian.**

【対話の訳】

女性：この通りには良いレストランがたくさんあるわ。

男性：夕食はどこで食べようか。

女性：この前は私が選んだじゃない。今日はあなたの番よ。

男性：君にぴったりのレストランを選ぶのは大変なんだ。魚は良くて肉はだめなのか，その逆なのか，覚えていられないよ。

女性：実は私，ベジタリアンなの。

【質問と選択肢の訳】

質問：女性について正しいのは次のどれか。

- ① 彼女は前回どこで食事をするべきか決められなかった。
- ② 彼女は今何も食べる気になれない。
- ③ 彼女はこの通りのどのレストランも知らない。
- ④ 彼女には食べない物がある。

【ポイントと解説】

男性の2回目の発話の I can never remember if you eat fish but not meat, or vice versa. 「魚は良くて肉はだめなのか，その逆なのか，覚えていられないよ」とそれに対する女性の発話 Actually, I'm a vegetarian. 「実は私，ベジタリアンなの」を聴き取り，適切な選択肢を選ぶ。

B 対話文図表完成問題

問17～19 **17** **18** **19**

【読み上げられた英文】

W: I had dinner with Jim last night, but he ate so fast that I couldn't enjoy it.

M: Nowadays people are too busy to have a relaxing meal.

W: How much time do people spend eating each meal?

M: Let me see .... Here's some data on mealtimes. It shows how many minutes a day people spend eating meals.

W: Oh, I thought Spanish or Italian people must spend the most time at each meal.

M: Spain ranks sixth and <sup>(18)</sup>Italy, which is said to have started "slow food," comes before Belgium.

W: Right. And it is natural that <sup>(17)</sup>France ranks first and Japan third, but it's a bit surprising that <sup>(17)</sup>New Zealand comes between them.

M: I hear that these days they are enjoying a variety of dishes from many cultures.



W: I see. Look! <sup>(19)</sup> **Poland and Sweden spend the same amount of time at meals.** I wonder what kind of dishes they usually have.

M: Why don't you go there and try them?

【対話の訳】

女性: 昨晚, ジムと一緒に夕食をとったのだけど, 彼, 食べるのがものすごく速くて楽しめなかったわ。

男性: 最近, みんな忙し過ぎてゆっくり食事をとってられないんだよ。

女性: みんな毎回の食事にどれだけ時間を費やしているのかしら。

男性: そうだね…ほら, ここに食事時間に関するデータがあるよ。人びとが食事をするのに1日に何分費やしているか示しているよ。

女性: あら, 私はてっきりスペイン人かイタリア人が1回の食事に最も時間をかけているに違いないと思っていたわ。

男性: スペインは6位で, 「スローフード」を始めたと言われている <sup>(18)</sup> **イタリアはベルギーの前**に**来ている**。

女性: そうね。それから <sup>(17)</sup> **フランスが1位で, 日本が3位**というのはもっともだけれど, <sup>(17)</sup> **ニュージーランドがその間に来ている**というのは少し驚きだわ。

男性: 最近, そこでは様々な文化のいろんな料理を楽しんでいるそうだよ。

女性: なるほどね。見て! <sup>(19)</sup> **ポーランドとスウェーデンが食事に同じだけ時間をかけているわ**。彼らは普段, どんな食事をしているのかしら。

男性: そこへ行って食べてみたらどうだい?

【選択肢の訳】

- |        |            |
|--------|------------|
| ① フランス | ② イタリア     |
| ③ 日本   | ④ ニュージーランド |
| ⑤ スペイン | ⑥ スウェーデン   |

【ポイントと解説】

国名と順番や前後関係を表す語句などに注意して会話の流れを捉える。

第4問 モノローグ型内容把握問題

A 短文内容把握問題

問20 **20**

【読み上げられた英文】

Grass parakeets are quiet by nature. In the wild they are so calm that they will let people get close to them when feeding. As pets, they are quiet and

are ideal birds for apartments. Their tiny beaks do little damage. Grass parakeets are happiest when kept as a single pair in a large cage, where they are just fantastic to observe. **Compared to other pet birds, grass parakeets are a bit weak and need special care to live their full life span of about 10 years.**

【全訳】

草インコは生まれつきおとなしい。野生の状態では、餌を食べているとき人間を近づけさせるほど落ち着いている。ペットとして、おとなしくアパートで飼うには理想的な鳥である。小さなくちばしはものを傷つけることはほとんどない。草インコは大きなカゴで1つがいでも飼われるのが一番うれしい。そしてその状況はインコを観察するのに実にすばらしい。他のペットの鳥と比較して、草インコは少し弱く、最長で約10年という寿命を生きるには特別な世話が必要である。

【質問と選択肢の訳】

質問: 草インコは他のペットの鳥と比べてどうか。

- ① 病気にかかりにくい。
- ② より強くさえずる。
- ③ 平均して10年長く生きる。
- ④ 長生きするには特別な世話が必要である。

【ポイントと解説】

英文最後の Compared to other pet birds, grass parakeets are a bit weak and need special care to live their full life span of about 10 years. 「他のペットの鳥と比較して、草インコは少し弱く、最長で約10年という寿命を生きるには特別な世話が必要である」を聴き取り、適切な選択肢を選ぶ。

問21 **21**

【読み上げられた英文】

Let's make environmentally friendly deodorant spray. **First, put 20 ml of dehydrated ethanol in a bowl.** Dehydrated ethanol is highly concentrated alcohol and burns easily, so be careful when using it. It's a good idea to have the windows open. **Then add a few drops of your favorite essential oil.** I recommend lavender or tea tree. Stir it until the oil has dissolved. **Then add 180 ml of water** and mix well. **Lastly, add a teaspoon of baking soda** and stir again. Put the mixture in a spray bottle and spray it wherever you hope to prevent unpleasant odors.

【全訳】

環境に優しい消臭スプレーを作しましょう。最初

に、ボウルに無水エタノールを20 ml 入れます。無水エタノールは高濃度のアルコールで、燃えやすいので、取り扱いに注意してください。窓を開けておくとういでしょう。次にお好みの精油を数滴加えてください。お薦めはラベンダーかティートリーです。精油が溶けるまでかき混ぜます。それから水を180 ml 加え、よく混ぜます。最後に、重曹を小さじ1杯加え、再度かき混ぜます。混合溶液をスプレーボトルに入れて、不快なおいがつかないようにしたいと思うところはどこにでもスプレーしてください。

#### 【質問と選択肢の訳】

質問：スプレーを作るのに、以下の材料はどの順序で加えるか。

- ① 重曹 → 精油 → 水 → エタノール
- ② 重曹 → 水 → 精油 → エタノール
- ③ エタノール → 精油 → 水 → 重曹
- ④ エタノール → 水 → 精油 → 重曹

#### 【ポイントと解説】

First, put 20 ml of dehydrated ethanol in a bowl. 「最初に、ボウルに無水エタノールを20 ml 入れます」, Then add a few drops of your favorite essential oil. 「次にお好みの精油を数滴加えてください」, Then add 180 ml of water 「それから水を180 ml 加え」, Lastly, add a teaspoon of baking soda 「最後に、重曹を小さじ1杯加え」を聴き取り、4つの材料を加える順序を理解する。

問22 **22**

#### 【読み上げられた英文】

Beginning in the mid-nineteenth century, young boys and girls often wore sailor suits as both school uniforms and everyday dress. The popularity of the style was sparked by a portrait of Albert Edward, Prince of Wales, who wears a scaled down version of the newly standardized white and blue uniform of the Royal Navy. By dressing her sons in navy uniforms, Queen Victoria indicated her aspirations for her children and her country. As royalty were the trendsetters of the day, the fashion for sailor suits soon spread across Europe and the United States. It was in 1921 that Japanese girls began to wear sailor uniforms to school.

#### 【全訳】

19世紀半ばから、少年少女たちは学校の制服としても、また普段着としても頻繁にセーラー服を着ていた。この服装は、イギリス皇太子であるアルバート・エドワードの肖像画が引き金になり、人気に火がついた

たのである。肖像画の中で彼は、新たに規格化された、英国海軍の白と青の制服を子供用に小さくした服を着ている。ビクトリア女王は、息子たちに海軍の制服を着させることで、息子たちと国に対する自らの願いを示したのだ。王室が当時の流行を創る人であったため、セーラー服の流行はすぐにヨーロッパとアメリカで広まった。日本の少女たちがセーラー服の制服を着て学校へ行きだしたのは、1921年のことだった。

#### 【質問と選択肢の訳】

質問：話し手によれば、どれが正しいか。

- ① アルバート・エドワードが英国海軍の制服をデザインした。
- ② ビクトリア女王は息子たちにヨーロッパかアメリカに行ってもらいたかった。
- ③ セーラー服は19世紀において子どもたちが着る普段着だった。
- ④ セーラー服の制服は19世紀初頭に日本に紹介された。

#### 【ポイントと解説】

英文冒頭の Beginning in the mid-nineteenth century, young boys and girls often wore sailor suits as both school uniforms and everyday dress. 「19世紀半ばから、少年少女たちは学校の制服としても、また普段着としても頻繁にセーラー服を着ていた」を聴き取り、適切な選択肢を選ぶ。

#### B 長文内容把握問題

問23～25 **23** **24** **25**

#### 【読み上げられた英文】

<sup>23</sup> People who are often late are mistakenly seen as inconsiderate, selfish, or lazy. In fact, habitually late people misjudge the time needed even for things they do regularly, like driving to work. Call him optimistic or unrealistic, but if a person who tends to run late once got to work in a very short time — on a good traffic morning, catching all green lights — he assumes he can depend on this swift journey every day. <sup>24</sup> Late people time things exactly, according to the best-case scenario.

If you can't seem to be on time for anything, try the following. First, <sup>25</sup> spend a week timing your daily tasks. Once you know how long it really takes to do your daily routine, you can adjust your schedule accordingly. Second, always plan to arrive early, allowing for fifteen extra minutes in every trip. Late people often view time spent



waiting as time wasted. But if you carry a book or your cellphone, you can use those few extra minutes productively. Finally, make a list of your daily tasks, with your new time estimates written next to each item. Then you'll be able to tell if you've scheduled 30 hours' worth of activity into a 24-hour day.

【全訳】

<sup>23</sup> 頻繁に遅刻する人は、思いやりがない、利己的、あるいは怠惰であると誤解される。実は、決まって遅刻する人は、定期的に行っていること、例えば車で通勤することであっても、要する時間の判断を誤るのである。楽観的あるいは非現実的であると言ってもよいが、遅刻しがちな人は、例えば朝、交通が順調に流れていて、たまたま信号がすべて青だったため、短時間で職場に到着したことが1回あると、この迅速な行程を毎日当てにすることができると勝手に思い込んでしまうのである。<sup>24</sup> 遅刻する人は、最善の場合の筋書に従って、ものごとのタイミングをぎりぎりの時間に合わせるのである。

どうしても時間に間に合わせることができないような場合は、次のことをやってみなさい。最初に、<sup>25</sup> 日々の仕事の時間を計って1週間を過ごしなさい。日課をこなすのに実際どれだけの時間がかかるかわかれば、それに従って予定を調整できるだろう。次に、あらゆる行程を15分余計に見積もり、いつも早目に到着するよう予定しなさい。遅刻する人は、待ち時間を時間の無駄だと考えることが多い。しかし、本や携帯電話を持っていれば、その余った数分を生産的に使うことができる。最後に、日課をリストにし、それぞれの項目の横に新しく見積もった時間を書きなさい。そうすれば、1日24時間の中に30時間に値する活動を組み込んだかがわかるだろう。

【質問と選択肢の訳】

問23 遅刻する人に対する誤解として挙げられているものはどれか。[23]

- ① 彼らは他人がどう思おうと気にしない。
- ② 彼らには正確な時間の感覚が欠如している。
- ③ 彼らは理想的な世界観を持っている。

④ 彼らは待つことを時間の無駄と考えている。

問24 遅刻する人に関してどんな問題が述べられているか。[24]

- ① 彼らは予定の調整をすることをしない。
- ② 彼らは自分が遅刻することに他の人は決して怒らないと思っている。
- ③ 彼らは他の人が時間の調整を手伝ってくれることを当てる。
- ④ 彼らは今までの中で最善の経験に基づいて行動しがちである。

問25 話し手によれば、遅刻する人は何をすべきか。

[25]

- ① 1つ1つの行程にもう50分加える。
- ② 1つ1つの行程を計画することにあまり多くの時間を費やすことは避ける。
- ③ 日課をこなすのに必要とされる時間を計る。
- ④ 1日が30時間であるかのように予定を組む。

【ポイントと解説】

問23 [23]

英文冒頭の People who are often late are mistakenly seen as inconsiderate, selfish, or lazy. 「頻繁に遅刻する人は、思いやりがない、利己的、あるいは怠惰であると誤解される」を聴き取る。

問24 [24]

英文中程の Late people time things exactly, according to the best-case scenario. 「遅刻する人は、最善の場合の筋書に従って、ものごとのタイミングをぎりぎりの時間に合わせるのである」を聴き取る。

問25 [25]

遅刻する人に対するアドバイスは英文の後半で述べられていることを押さえ、その中の spend a week timing your daily tasks. Once you know how long it really takes to do your daily routine, you can adjust your schedule accordingly. 「日々の仕事の時間を計って1週間を過ごしなさい。日課をこなすのに実際どれだけの時間がかかるかわかれば、それに従って予定を調整できるだろう」を聴き取る。

模試を受験された後の学習のために、自宅で「リスニングテスト」の音声を聴くことができます。以下の Kei-Net ホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/onsei.html>

※お聴きいただくには、Kei-Net 会員の登録(無料)が必要です。

## MEMO

受験直後の復習が大きな差を生む!!

## 自己採点シート

## 第1回 全統マーク模試

クラス	番号	氏名

【シートの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」の【解答・採点基準】にしたがって自己採点してみてください。  
②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとと比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の☆に色を塗りましょう。  
③色を塗った☆の設問番号を中心に具体的な補強策を考え「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。  
→さらに個人成績表の返却後、ANTENNA（成績統計資料）についている「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう!!

総合計（第1回全統マーク模試）	
自己採点	実際の得点

成績表の返却後、得点を記入しましょう

教科・科目	設問ごとの得点						合計	今後の課題と学習プラン	第1回全統マーク模試 得点
	1	2	3	4	5	6			
英語	発音・強勢 / 14 ☆	文法・語序 / 44 ☆	文章把握 / 41 ☆	読解－図表 / 35 ☆	読解－図 / 30 ☆	読解－長文 / 36 ☆	/ 200	↑	/ 200
	短対話－図	対話－応答	対話・図表	モノローグ					
リスニング	/ 12 ☆	/ 14 ☆	/ 12 ☆	/ 12 ☆	/ 12 ☆		/ 50	↑	/ 50
数学 I	数と式 / 20 ☆	データの分析 / 20 ☆	図形と計量 / 30 ☆	2次関数 / 30 ☆			/ 100	↑	/ 100
	数と式、図形と計量	2次関数、データの分析	場合の数と確率	整数の性質	図形の性質				
数学 I A	/ 30 ☆	/ 30 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 100	↑	/ 100
旧数学 I	数と式、方程式・不等式 / 20 ☆	2次関数 / 25 ☆	図形と計量 / 30 ☆	数と式 / 30 ☆			/ 100	↑	/ 100
	数と式、集合・論理	2次関数	図形と計量、平面図形	場合の数と確率					
旧数学 I A	/ 20 ☆	/ 25 ☆	/ 30 ☆	/ 25 ☆			/ 100	↑	/ 100
数学 II	三角関数、指数・対数 / 30 ☆	微分法・積分法 / 30 ☆	図形と方程式 / 30 ☆	高次方程式 / 20 ☆			/ 100	↑	/ 100
	三角関数、指数・対数	微分法・積分法	数列	平面ベクトル	確率分布と統計的な推測				
数学 II B	/ 30 ☆	/ 30 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆		/ 100	↑	/ 100
旧数学 II B	三角関数、指数・対数 / 30 ☆	微分法・積分法 / 30 ☆	数列 / 20 ☆	平面ベクトル / 20 ☆	統計 / 20 ☆	コンピュータ / 20 ☆	/ 100	↑	/ 100

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

# 受験直後の復習が大きな差を生む!!

## 【シートの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」の【解答・採点基準】にしたがって自己採点してみてください。
  - ②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとに比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の☆に色を塗りましょう。
  - ③色を塗った☆の設問番号を中心に具体的な補強策を考え「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。
- さらに個人成績表の返却後、ANTENNA（成績統計資料）についての「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう！！

成績表の返却後、得点を記入しましょう

教科・科目	設問ごとの得点						合計	今後の課題と学習プラン	第1回全統マーク模試 得点
	1	2	3	4	5	6			
国語	現代文ー評論	現代文ー小説	古文	漢文			/ 200		/ 200
	/ 50 ☆	/ 50 ☆	/ 50 ☆	/ 50 ☆					
物理基礎	小問集合	運動と力					/ 50		/ 50
	/ 25 ☆	/ 25 ☆							
化学基礎	物質の構成	物質の変化					/ 50		/ 50
	/ 25 ☆	/ 25 ☆							
生物基礎	生物と遺伝子	体液と免疫	補生と生態系				/ 50		/ 50
	/ 17 ☆	/ 16 ☆	/ 17 ☆						
地学基礎	固体地球	岩石・鉱物	地質・地史	大気・海洋	天文		/ 50		/ 50
	/ 10 ☆	/ 10 ☆	/ 10 ☆	/ 10 ☆	/ 10 ☆				
物理	小問集合	運動と力	気体	波動			/ 100		/ 100
	/ 24 ☆	/ 26 ☆	/ 25 ☆	/ 25 ☆					
化学	物質の構成	物質の変化	物質の変化	無機物質			/ 100		/ 100
	/ 25 ☆	/ 25 ☆	/ 25 ☆	/ 25 ☆					
生物	細胞の構造	呼吸	窒素代謝	遺伝	遺伝子		/ 100		/ 100
	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆				
地学	固体地球	岩石・鉱物	地質・地史	大気・海洋	天文		/ 100		/ 100
	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆				
物理 I	小問集合	電気と磁気	波動	力学と熱			/ 100		/ 100
	/ 30 ☆	/ 20 ☆	/ 20 ☆	/ 30 ☆					

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にておきましょう。

## 受験直後の復習が大きな差を生む!!

### 【シートの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」の【解答・採点基準】にしたがって自己採点してみましょう。
  - ②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとに比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の☆に色を塗りましょう。
  - ③色を塗った☆の設問番号を中心に具体的な補強策を考え「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。
- さらに個人成績表の返却後、ANTENNA（成績統計資料）についている「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう!!

成績表の返却後、得点を記入しましょう

教科・科目	設問ごとの得点						合計	今後の課題と学習プラン	第1回全統マーク模試 得点
	1	2	3	4	5	6			
化学 I	物質の構成 / 29 ☆	物質の変化 / 25 ☆	無機物質 / 21 ☆	有機化合物 / 25 ☆			/ 100		/ 100
生物 I	細胞・組織 / 20 ☆	生殖・発生 / 20 ☆	遺伝 / 20 ☆	動物の反応 / 20 ☆	植物の反応 / 20 ☆		/ 100		/ 100
地学 I	固体地球 / 20 ☆	岩石・鉱物 / 20 ☆	地質・地史 / 20 ☆	大気・海洋 / 20 ☆	天文 / 20 ☆		/ 100		/ 100
世界史 B	歴史上の戦士 / 25 ☆	海上貿易商人 / 25 ☆	インドの宗教 / 25 ☆	東欧の歴史 / 25 ☆			/ 100		/ 100
日本史 B	総合問題 / 18 ☆	文化の始まり / 20 ☆	政治と宮都 / 21 ☆	平安時代の政治 / 21 ☆	中世の総合 / 20 ☆		/ 100		/ 100
地理 B	世界の気候 / 17 ☆	地形 / 17 ☆	世界の農業 / 17 ☆	村落・都市 / 17 ☆	アジア地誌 / 16 ☆	南アメリカ / 16 ☆	/ 100		/ 100
現代社会	民主政治 / 22 ☆	地球環境問題 / 14 ☆	市場と企業 / 22 ☆	国際政治 / 14 ☆	青年と社会 / 14 ☆	国際経済 / 14 ☆	/ 100		/ 100
倫理	現代の倫理 / 28 ☆	思想の源流 / 24 ☆	日本の思想 / 24 ☆	西洋の思想 / 24 ☆			/ 100		/ 100
政治・経済	国家 / 28 ☆	企業 / 17 ☆	統治機構 / 19 ☆	日本経済 / 19 ☆	基本的人権 / 17 ☆		/ 100		/ 100
倫理、 政治・経済	現代の倫理 / 14 ☆	日本の仏教 / 18 ☆	近代と人間 / 18 ☆	人権保障 / 14 ☆	統治機構 / 18 ☆	日本の経済 / 18 ☆	/ 100		/ 100

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にておきましょう。







## 学力アップ・志望校合格のための復習法

効率よく学力を伸ばすうえで、受験した模試を繰り返し復習することは非常に大切です。全統模試受験後には学習の手引き（解答・解説集）を読むだけでなく、下記のアイテムを積極的に活用して学力アップ・志望校合格につなげましょう。

### STEP 1 模試受験後

#### 【学習の手引き】

解答・解説をしっかりと読み、自己採点シート（巻末掲載）で克服・補強すべき分野を明確にしましょう。

#### 【英語問題音声】

出題された音声問題の音源をダウンロードできます。繰り返し聴くことで、確実な復習を行いましょう。詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/onsei.html>

※Kei-Net 会員の登録（無料）が必要です。

### STEP 2 成績資料返却後

#### 【個人成績表】

現在の自分の学力状況を確認し、弱点分野については学習アドバイスを参考に今後の学習に活かしましょう。

#### 【ANTENNA（生徒用成績統計資料）】

個人成績表の見方や各データの確認とあわせて、見直しシートや学習対策（教科科目別）も利用しましょう。

##### ・見直しシート

今回の反省点とこれからの課題をチェックし、今後の対策を立てましょう。

##### ・学習対策（教科科目別）

総評・設問別講評・学習アドバイスなどを読み、復習のポイントをつかみましょう。

#### 【解説講義】

とくに押さえておきたい問題を河合塾講師が解説します。詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/kougi.html>

※Kei-Net 会員の登録（無料）が必要です。

### STEP 3 長期休み中や入試直前期

STEP 1・2 に再度必ず取り組み、確実な学力向上につなげましょう。